

| | | | |
|------------|------------|------------|-----|
| (イ) | (ロ) | (ハ) | (に) |
| 24 6984 | 95 85880 | 36 10440 | 注意 |
| (ニ) | (ホ) | (ヘ) | 同前。 |
| 87 81867 | 95 69350 | 57 51642 | 時間 |
| (ト) | (チ) | (リ) | 八分 |
| 78 92868 | 24 10800 | 38 32300 | |
| (ヌ) | (ル) | (ヲ) | |
| 42 17682 | 63 42903 | 64 61504 | |
| (ワ) | (カ) | (ヨ) | |
| 63 26460 | 42 28560 | 46 34086 | |
| (タ) | (レ) | (ソ) | |
| 56 50769 | 59 29913 | 75 55500 | |
| (ツ) | (ネ) | (ナ) | |
| 30 19236 | 78 44538 | 82 26643 | |
| (ラ) | (ム) | | |
| 87 61161 | 29 24679 | | |

| | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| (ト) | (チ) | (リ) |
| 115016913 - 55536329 | 72229470 - 45049173 | 146246252 - 52160891 |
| (ヌ) | (ル) | (ヲ) |
| 80630266 - 68164329 | 152695030 - 85612816 | 163130569 - 91061255 |
| (ワ) | (カ) | (ヨ) |
| 124485018 - 73098624 | 178976226 - 93060303 | 168354186 - 70537861 |
| (タ) | (レ) | (ソ) |
| 107419373 - 65348405 | 67089301 - 20203267 | 188545264 - 92471250 |
| (ツ) | (ネ) | (ナ) |
| 37953635 - 23913884 | 93994413 - 54783938 | 120981429 - 64188045 |
| (ラ) | (ム) | (ウ) |
| 137325921 - 62729490 | 108051861 - 73463849 | 105755782 - 90863147 |

第二 組み合わせ計算の場合

(大正十一年度東京府立第五中學校問題)

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 4.7.3.6 | 4.9.6.8 | 1.2.5.3 | 9.5.2.8 |
| 6.4.5.7 | 6.9.4.2 | 1.3.2.6 | 2.8.7.9 |
| 6.3.4.7 | 9.8.2.5 | 3.6.7.5 | 6.4.8.9 |
| 7.5.3.9 | 5.4.3.2 | 6.3.1.7 | 1.3.6.2 |
| 5.3.4.9 | 8.3.5.4 | 1.7.5.6 | 6.7.4.8 |
| 8.2.6.9 | 2.6.7.3 | 5.2.8.9 | 8.6.2.9 |
| 1.2.3.7 | 7.2.5.6 | 7.4.6.5 | 4.9.5.6 |
| 6.4.5.7 | 5.7.3.8 | 8.7.3.6 | 7.5.1.4 |
| 1.6.7.4 | 9.8.6.4 | 4.9.5.6 | 3.2.7.6 |
| 3.5.4.2 | 9.8.6.7 | 8.4.2.5 | 7.2.9.6 |

心性検査監督者心得

- (1) 問題紙ヲ裏向ニシテ配布シ、所定ノ場所ニ受験番號ヲ書カシメ
- (2) 次ノ如ク板書シ

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 9.5.3.7 | 1.5.4.6 | 9.4.8.5 | 3.6.5.7 |
| 1.5.6.2 | | | |
| | | | |

ソシテ次ノ説明ヲ述ベル

説明

今配ツタ問題ノ表面ニハ板書ノヤウナモノガ10行アル。コノ始メノ枠 9.5.3.7 |

(板書ノモノヲ示ス)ニツイテイフト、此四ツノ数字カラ任意ノ二ツノ数字ヲト

ツテ考ヘテ左ノ數ヨリ右ノ數ガ小サイ場合ガ幾組アルカラ見テソノ組數ヲ右ノ空

欄ニ記入スルノデス。

此ノ例デハ (9.5) (9.3) (9.7) (5.3) [板書ニツイテ指スコト] ノ四組ハ左ノ數ヨリ右ノ數ガ小サイガ (5.7) (3.7) ノ二組ハ左ノ數ヨリ右ノ數が大キイ。ソシテ此ノ外ニハ組ガ作レナイ。仍ツテ空欄ニ4ト記セバヨイ (實際ニ板書シテ示ス)

[9.5.3.7] (板書ノモノヲ指ス) カラ組ヲ見落サナイヤウニセネバナラヌ。ソ


レニハ組ヲ見テ行ク順序ヲ次ノヤウニスレバヨイ。

先ヅ (9.5) (9.3) (9.7) ノ順ニ見ル

[板書ニハ  ト順ニ孤ヲ画ク]

次ニ (5.3) (5.7) ノ順ニ見ル。

[板書ニハ  ト順ニ孤ヲ画ク]

最後ニ (3.7) ヲ見ル [板書ニハ  ノ孤ヲ画ク]

板書ノ結果ハ



サウスレバ最早コレヨリ外ニハ組ハ決シテ作レナイ。ダカラ上ニ述ベタ順序デ見テ行ツテ左ノ數ヨリ右ノ數ガ小サイ組ガ幾ツアルカヲ數ヘテ其數ヲ右ノ空欄ニ書ケバヨイ。

此ノヤウナ種類ノ組ヲ見付ケル毎ニ指ヲ折ルナリ、紙ニ印ヲツケルナリ、各自留意ニシテヨロシイ。

第一ノ梓ニ答ヲ書イタラ、ソノ右ノ梓ニ答ヲカキ、カウシテ第一行ガ終ツタラ其下ノ行ニ移リ、5分間ニ出來ルダケ多ク、ソレテ間違ハナイヤウニナサイ。ソシテ「止メ」ノ合圖ヲ筆ヲ擱キナサイ。

□練習題 (今まで學んだ力で出来ますか)

- (大正十一年度横須賀中學校問題)
次の如き暗號電報が来た。
Dpnf up mpoepo bu podf.
之を翻譯すれば
Come to London at once.
然らば "ten" に對する暗號は如何に綴るか。
- (大正十一年度東京府立第四中學校問題)
私は今櫻と鯉と瓦と小鳥とが買ひたいのです。甲、乙、丙、丁、の四ヶ所には鯉を賣つて居る。櫻は何所にてもある。瓦を賣つてゐる所は、戊、丁の二ヶ所です。松と杉とを賣る所は丙、丁、乙の三ヶ所です。金魚と煉瓦を賣つてゐる所は丁と甲と戊の三ヶ所です。小鳥は丙の所では賣つて居りませんが、他の所には皆あります。酒を賣つて居る所は甲と丙と丁の三ヶ所です。それなら、私は何所へ行つたら、櫻と瓦と小鳥と鯉とが同時に同所で買へますか。其の所の名を書け。
- (大正十一年度東京府立第四中學校問題)
次の數字の略せられてゐる所に適當な數字を入れよ。

| | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|----|----|--------|
| イ | 8 | 15 | 29 | 36 | 43 | 57 | 64 | 71 |
| ロ | 7 | 10 | 11 | 13 | 14 | | | 20 |
| ハ | | 4 | 9 | 16 | 25 | | 64 | 81 100 |
| ニ | 32 | | | 28 | 29 | 26 | 27 | 25 |
| ホ | 6 | 10 | 13 | | | 15 | 13 | 10 |
- (大正十一年度東京女高師附屬高等女學校問題)
間違ヒノ無イ問題ニハ正、間違ヒノニハ誤ト書ケ。
イ 左側通行ガ實行サレルト行ク人ハ來ル人ノ右ヲ通ルヲケマス。
ロ 春ニナリマシタ。田ニハオ米ガヨク實ツテ居リマス。
ハ 近頃ハ早ク夜ガ明ケルカラ日ガ短カクナツタノデセウ
ニ 短針ガ二時ヲ指シテ居ルカラ、長針ハ十二時ヲ指シテ居ル答マス。
ホ 此ノ手紙ハ五匁アルカラ、一錢五厘切手ナラバ三枚ハラネナラヌ。
- (大正十一年度東京府立第二高等女學校問題)
1 六時二十二分 4 八時十分
2 二時四十五分 5 九時五十二分
3 十一時二十三分 6 〇時二十一分
右ノ時刻ノ時ニ長針ト短針ガ入リカハリニナツテ凡ソ何時間分カ。

第十五章 創作法(話をこしらへる法)

與へられたる語を使用して、一つのまとまりたる話を考へ出す方法である。全く意味をなさないもの、話に連絡なきもの、又は關係なき事を長く綴るのはためである。

- 次の語を含んで居るなるべく長い話を書け。
男の子、川、ボール、(スクワイア氏のテスト)
- 同 家がやけた、子供獨り、伶俐な猿、親が有り難く思つて、賞與
イ、盜賊、豪農、蟹、振ル、ホテル、バスケット、泣聲、食物
逃げる、囚監 (注意バスケットとは籠のことです。)
- 次の語を皆含んで居る話を作れ(ウインチ氏のテスト)

- 口、孤兒、庭園、飢ゑて、停車場、両親、衣服、客、小舎
- 汽車、田舎
- ハ、吹雪、子供等、切符、時計、犬、叫ぶ、寺、バスケット
- 川、氷
- ニ、軍隊、丘、大砲、勝利、騎兵、戦争、捕へた、勇ましい
- ホ、犬、時計、バスケット、人、小供等

(4) (大正十一年度東京府立第七中學校問題)

次の語を出来るだけ多く用ひて、一つのまとまつた文章を作れ。

春、花、行く、時候、人々、身體、美しい、寒い、電車、雲、試験、見よ、
注意、鳥、静か、笑ふ、景色、忘れる、草、東京、上、青々、

第十六章 概括法(まとめる法)

これは二個以上の事柄を知つて、それから新しい一つの事柄を考へ出す方法である。すなはち多くの事柄を、一つの新しい事柄にまとめる法である。

例、つぎの話で高い空はどんなだと思ひますか。(久保文學士知能査定法より)

イ、飛行機の高くとぶ時には夏でも外套をきる。

ロ、富士山にのぼると夏でも氷がはつた所がある。

この問題からは「高い空は寒い」といふやうにまとめればよいのである。

(1) 次の四つの事柄をよく考へて、石油と水とは性質がどんなに違ふか、一つにまとめて答へなさい。(對馬・佐藤氏精神検査法の理論及實際より)

イ、水の中へ石油を入れても混らない。

ロ、慾張りの油屋が石油に水を混ぜて賣つた。すると終には水ばかり残つた。

- ハ、ランプの石油が少くなつたので水を入れて燈火をつけたらよくもつた。
- ニ、水八合の目方と石油凡そ一升の目方と同一である。
- (2) 次のことからどんな事が言へるか。(久保文學士知能査定法より)
- イ、大砲の丸は海に落ちると浮かない。
- ロ、金は水よりも二十倍重い。
- ハ、銅貨は水に落とすと沈んでしまふ。
- ニ、真鍮は水より二倍重い。
- (3) 次の事からどんな事が言へるか。
- イ、明治天皇が御重態の際は、七千萬の臣民が神に御平癒をいのりました。
- ロ、秦の始皇帝は、家來に命じて不老不死の薬を見つけさせましたがとうとう見つかる事が出来ませんでした。
- ハ、大隈侯は平常、百二十五歳まで生きると云つて居たが、八十ばかりで死に

ました。

ニ、名醫といふ名醫の診察を受けましたが、浪子の病氣は遂になほらなかつた。

ホ、支那の膨祖といふ人は七百年の齢を保つたと言ひ傳へられますが、今は生きては居ません。

(4) (大正十一年度東京府立第二高等女學校問題)

道雄が今朝起きて見ると、商用で四國の方へ旅行してゐた父が夜汽車でかへつた所であつた。一月もかゝる様なお話であつたので不思議に思つて聞いて見た。

「何うしてお歸りになつたのですか。御用はもうすんだのですか。」

「いやまだすまない。が今日は衆議院の總選舉だ。貴い選舉權を棄てるといふ事は選舉人としてかりそめにもすべき事でないから、かうしてわざわざ歸つて來たのだ。」

「お父さんは誰に投票なさるのですか。」

「それは誰にも言ふべきことではない。しかし今度の候補者の中に實に立派な考を持つてゐて、あの人ならばと思はれる人があるからおとうさんは最初からちやんとその人にきめてゐるのだ。」

「その人はきつと當選するでせうか。」

「それはわからない。が當選するしないは別にして、めい／＼自分の適當と信じてゐる人に投票するのが本當の選舉といふものだ。世間には種々の事情の爲めに或は信用もしてゐない人に投票したり、或は棄權してしまつたりする人もあるがそんな事をするのは選舉の趣意にそむいてゐる。國民として恥すべきことだ。」

道雄は此の時ふと學校級長選舉の事を思ひ出した。

(問) 道雄は選舉について、どれだけの事を學び得ましたか。

(5) (大正十一年度東京高師附屬中學校問題)

太郎と太郎の父とが、次の話をしてゐた。太郎は此の話の間に、流星について

どけだけの知識を得たか。一つがきに書きならべよ。(時間十五分。)

「あれ、お父さん、あんな高い空の上で螢が飛びましたよ。」「太郎、今は三月ぢやないか。今頃螢がゐるものかね。」「だつて今飛んだんですもの。」「それはお星様だらう。」「お星様がとぶでせうか。」「飛ぶのもあるね。それを流星といふんだ。」「流星には翼があるんですか。」「まさか翼はないさ。流星とは此の地球に向つて落ちて来る鐵のかたまりなんだ。落ちる時、飛ぶやうに見えるのさ。」「鐵のかたまりが星なんですか。」「さうさ。」「空にはあんな光る鐵があるのですか。」「光る鐵といふわけぢやない。光るのはその鐵が燃えるからだ。」「鐵が燃えるなんて不思議ですね。」「そりや鐵だつて、強い熱にあへば燃えるさ。」「誰がその熱をやるのです。」「鐵のかたまりが空から落ちて来る間に、空氣の中を通るだらう。さうして空氣と擦れ合つて熱を起し、その熱で自分が燃え、そしてお前の目に見えたやうに光るのさ。」「空氣と擦れ合つた位いで、そんなひどい熱が起るなんてをか

しいなあ。「いや、をかしくはない。すべての物は擦れ合ふと熱を起す。擦れ合ふときの速さがいればはやく強い熱が起きます。流星の走る速さは、一秒時間にざつと二十哩、鐵砲玉の百倍ぐらゐの速さです。速さが百倍になると熱が一萬倍になる割合のもので、流星といふ鐵のかたまりが燃えるのも不思議はない。鐵砲玉でさへ、飛んでゆく間にはかなりの熱を起して、少し熔けかゝるんだからね。「空には、そんな鐵が澤山あるんですか。「そりや實に澤山あるのさ。地球に向つて落ちて来る數だけでも、一晚に一千萬ほどあるといふ話だ。「そんなに落ちて來たらあふないぢやありませんか。「でも大抵は空氣の中で燃えてしまつて、こゝまではとどかないから安心さ。「燃えきらずに落ちるのもありますか。「それもあつね。拾つて持つてゐる人もあつよ。」

答一、

一、

第十七章 其他の検査法

以上十六章に分類して各種の精神検査法の大略を紹介したが、元來精神検査に關する問題を記憶法とか反對類似法とか推理法、演繹法、類推法、概括法などと分類する事は無理な仕事である。何となれば何れの検査法でも只一種の精神作用によつてなし得るものではなく、今ここに直線一本引くにも注意力は勿論記憶力も推理力も其他種々の精神の働が共に行はれて始めてなし得るのである。

されば以上の分類は學問的に正確なものでない事は勿論で、只單に精神検査法を學習される諸君の便宜上、各種の精神の働く中、主としてどの作用が活動するかによつて、分類したのである。

第十七章に集めたものは以上十六章の何れかに屬せしめる事が出來ぬのではないが、これはむしろそれらと切り離れた方が學習上好都合と考へたからである。

第一 筋肉の働きをためす法

一、星形の場合

(大正十一年度東京府立第二高等女学校試験問題)

注意 鉛筆の先が線に當つてはならぬ、紙を左右上下に廻してはならぬ、左右各一分
中心より右は右手 } を用ふべし
中心より左は左手 }



これは學習力をためす法である。學習する力の良いわるいは手指の器用か否かに關係する事が多い。紙は二枚渡されるから、左右別々の紙を使ふのである。

二、雲形の場合



これも圖の上方の中ほどに引いてある棒の處から始めて、右廻りなり左廻りなり、兎も角左右鉛筆を持ちかへて各々一周するのである。
そして學校によつては左右各三十秒位いでやらせる事がある。
手先の器用であるか否かは、指の筋肉の働きの敏速であるか、遅鈍であるかによるので、結局は頭の良し悪しに關係する。そこで若しこの働きの鈍い人は讀方でも書方でも算術でも他人に後れを取るのは當然である。

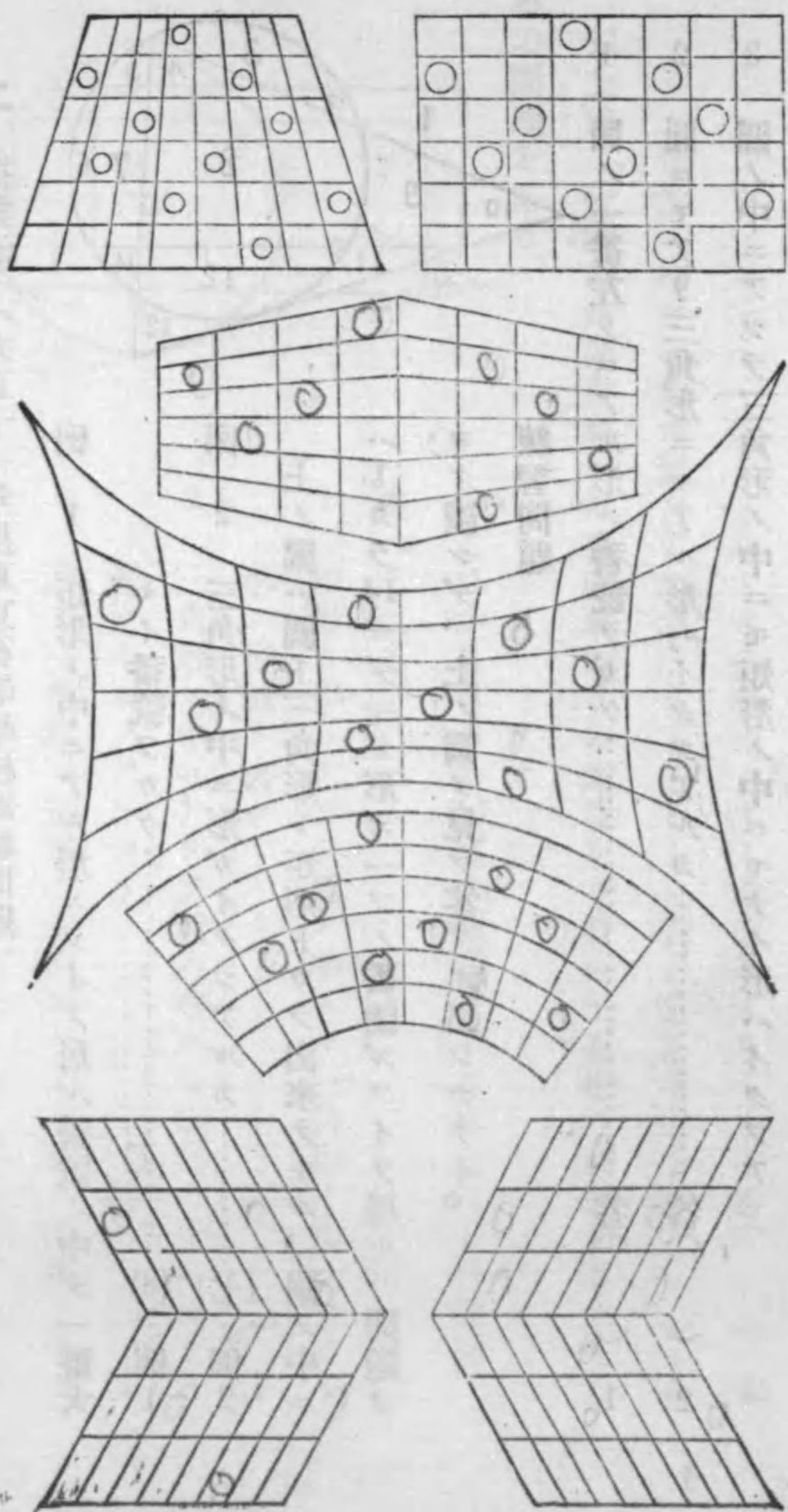
第二 観察力をためす法

物事を観察する力の良否は世の中に立つて行く上に非常な利害関係がある。學校生活中にも大切な事である。理科の中で動物や植物の事を學ぶのは主としてこの力を伸ばさんがためである。間違ひなく観察するために最も大切なのは注意深いといふ事とよく比べ見る事とである。それ故にこの検査によつて注意のまごまらぬ人であるか或は判断の良くない人であるかを知る事が出来るのである。

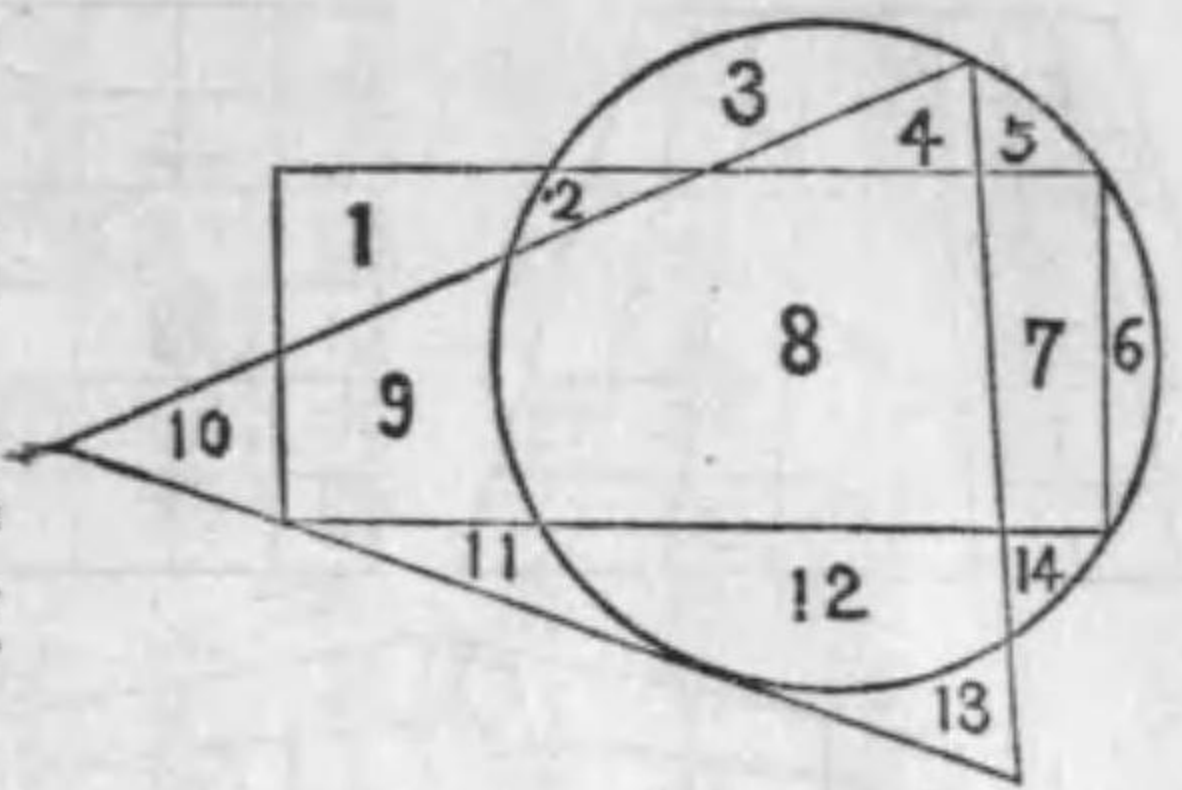
一、観察法くわんさつ（大正十一年度横須賀中學校試験問題）

（説明）此の用紙の上部右方には縦横合計四十八區劃した原圖があつて、之に十個の○を入れてある。其の下には之と縦横同じ區劃に分けた色々な圖形がある。今是等の圖形に原圖と同じ様な位置の區劃へ○を記入して行くのである。○は上の圖形から順次に記入して行かねばならぬ。

原圖 例



二、探索法 (大正十一年度東京高等学校試験問題)

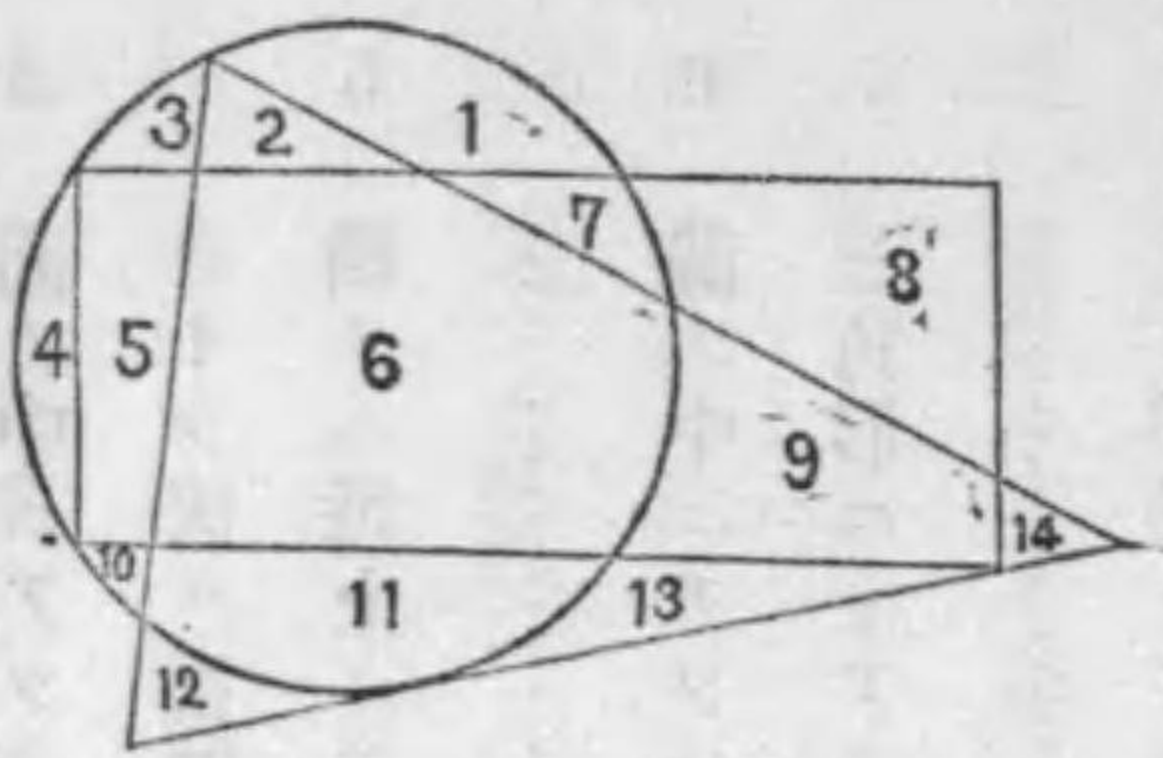


- 1 圖ノ一番左リニアル形ノ番號ヲカケ……………答() 1
- 2 圓ニモアリ三角形ニモアル形ハイクツアルカ……………答() 2
- 3 圓ノ中ニアツテ三角形ノ中ニモ矩形ノ中ニモナイ形ハイクツアルカ……………答() 3

練習問題

- 例 1 矩形ノ中ニアル形ニツイテ居ル番號ノ中デ一番大キイ番號ヲカケ……………(8)……………例 1
 - 例 2 三角形ノ中ニ形ガイクツアルカ……………(七)……………例 2
- 上ノ圖ハ圓ト三角形ト矩形トカラ出来テキル、圖ノ中ニハ1カラ14マデ一ツ形ニ一ツノ番號ガツイテ居ル。問題ヲヨク讀ンデ、上ノ圖ヲ見テ答ヲオ出シナサイ。

以上は二分間の時間を與へて受験者がこの方法を十分わかるやうに練習させるための問題である。



- これからさきのが眞の問題で、これには十分間を與へられる。
- 1 矩形ノ中ニアツテ圓ノ中ニモ三角形ノ中ニモナイ形ノ番號ヲ書ケ……………答() 1
 - 2 三角形ノ中ニアツテ圓ノ中ニモ矩形ノ中ニモナイ形ハイクツアルカ……………答() 2
 - 3 圓、三角形、矩形ノドレニモアル形ノ番號ヲカケ……………答() 3

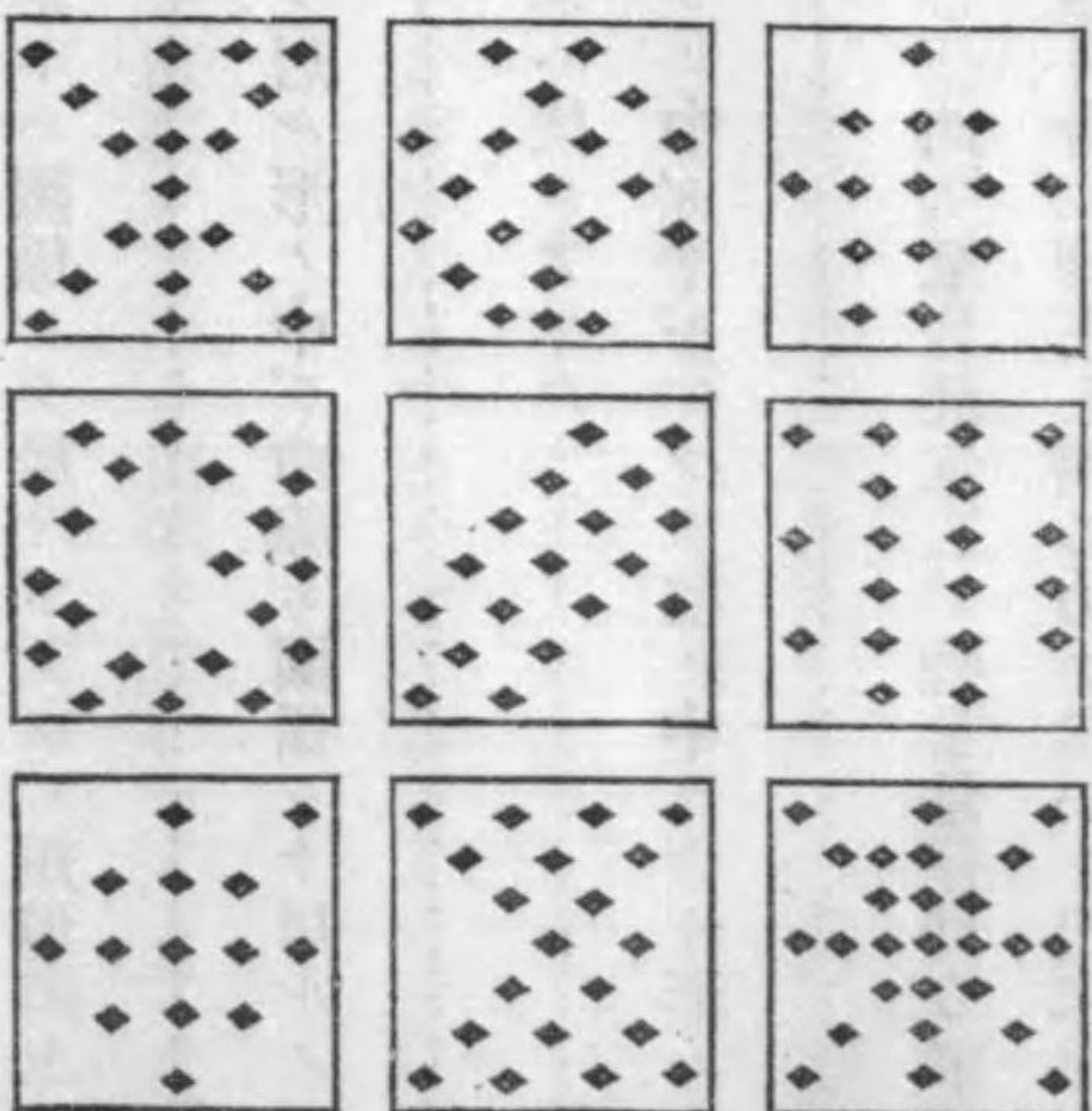
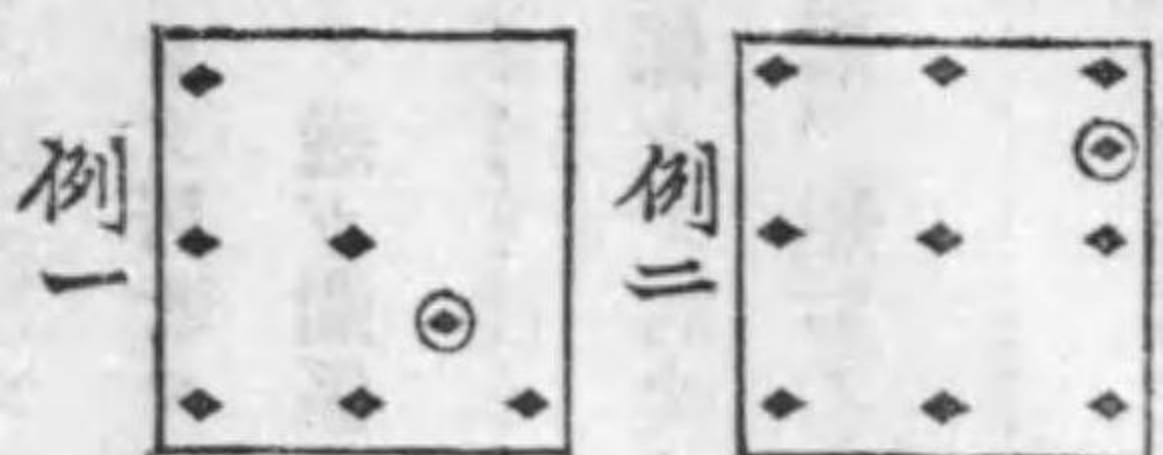
- 4 圓ノ中ニアツテ矩形ノ中ニモ三角形ノ中ニモナイ形ガ四ツアル其ノ四ツニツイテ居ル番號ノ中デ一番大キナ番號ヲカケ……………答() 4
- 5 圖ノ一番上ニアル形ノ中デ圓ニモアリ三角形ニモアル形ノ番號ヲカケ……………答() 5
- 6 圓ノ中ニアツテ三角形ノ中ニナイ形ハイクツアルカ……………答() 6
- 7 三角形ニモアリ圓ニモアルガ矩形ノ中ニハナイ形ガイクツアルカ……………答() 7
- 8 1カラ14マデノ形ノ中デ直線ダケカラ出來テ居ルモノガアル、又直線ト曲線(圓周ノ一部分)カラ出來テ居ルモノガアル、四ツノ直線カラ出來テ居ル形ノ番號ヲカケ……………答() 8
- 9 一ツノ直線ト一ツノ曲線トカラ出來テ居ル形ノ番號ヲカケ……………答() 9
- 10 最モ多數ノ線カラ出來テ居ル形ハドレカ其ノ形ニアル線ノ數ヲカケ……………

- ……………答() 10
- 11 ニツノ直線ト一ツノ曲線トカラ出來テ居ル形ハ幾ツアルカ……………答() 11
- 12 矩形ノ右ノ邊ハ8、9、14ノ三ツノ形ノ一邊トナツテ居ル、コンナ時ニ矩形ノ右ノ邊ト三ツノ形トハ關係シテ居ルト云フ、矩形ノ上ノ邊ハ幾ツノ形ニ關係シテ居ルカ……………答() 12
- 13 矩形ノ下ノ邊ガ關係シテ居ル形ノ中デ曲線ニ關係シテ居ルノハ幾ツアルカ……………答() 13
- 14 圓周ガ關係シテ居ナイ形ハ幾ツアルカ……………答() 14
- 15 圓、三角形、矩形ノ一ツノ中ダケニアツテ他ノ中ニナイ形ハ全體デ幾ツアルカ……………答() 15

これは前のはとは一層複雑である。即ち單に注意し、物を見分ける事はかりでなくその上に問題の要求してある點を十分に理解し得る力がないと出來得ない。

三、點發見法

注意、下の圖をよく見てその内の點が不規則に配列されてゐるものがあつたなら、それを見出して、その點に次の例にある通り○印をつけなさい。



これは物の性質や形を比べてそのちがひを見分ける力のよしあしをしらべる方法である。横須賀中

學校の問題と同じく注意力のよしあしも大に關係する。

これは不規則に並べられたのに○印をつけるやり方であるが又他に不足な場所に◆點をつけ足す場合もある。

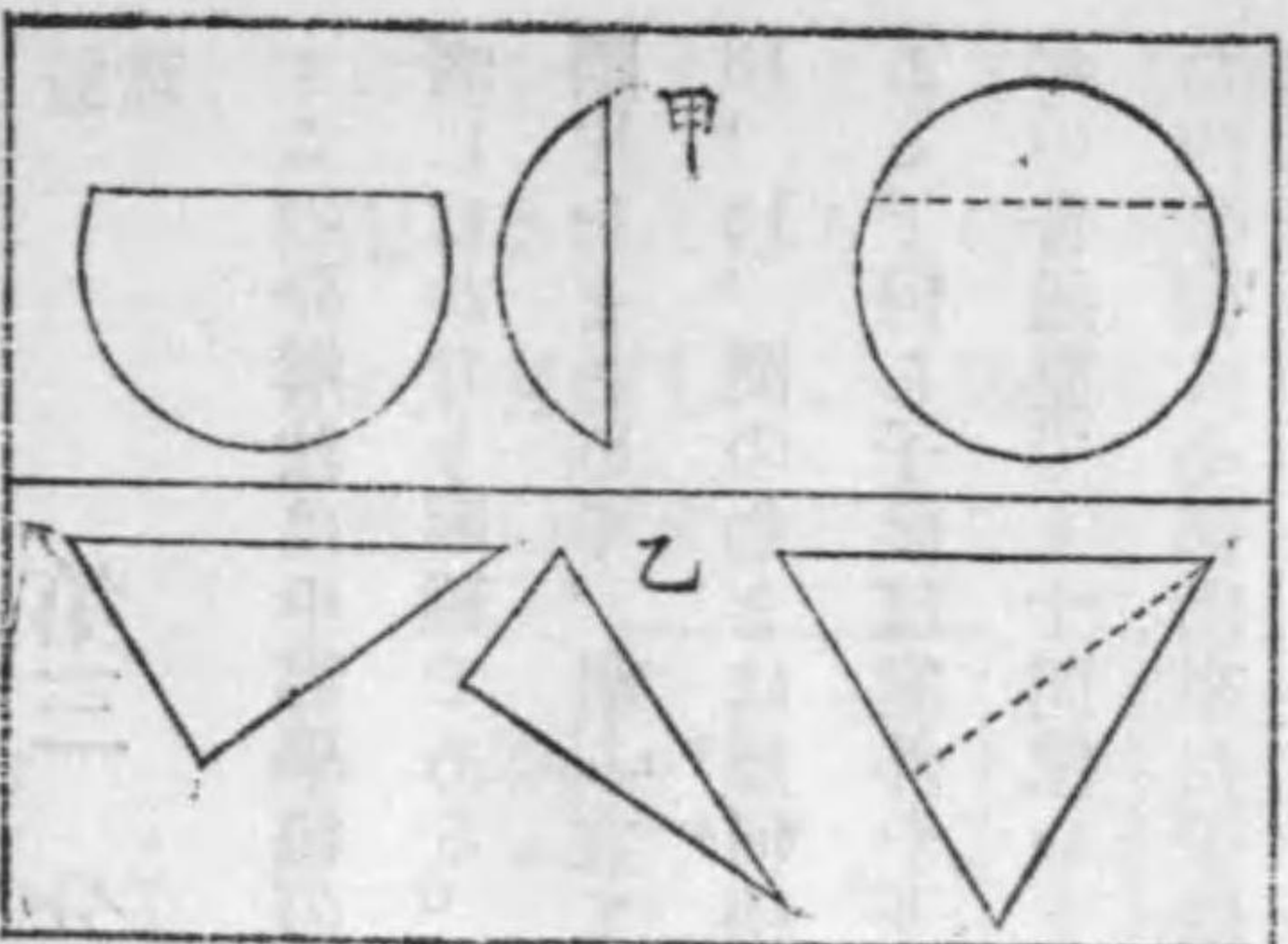
第三 分解力をためす法

この分解法は中等學校の上級生には容易な問題であるが、小學校を出たばかりの者にはかなり困難である。それは單に一つの圖形を分けきるだけの事ではなくて、斷片をまとめて、組み立てる心の働きも大に入用であるからである。就中、7、13、15、問の如きは幾何學や用器畫法を知らない人々には相當手數のかゝる問題である。但し子供は案外やり得るもので、時間さへ十分に與へてやれば、尋常一、二年の普通兒でも十問位いまでは出來、優等兒は全部をやり遂げる。そして定められた四分間に全部出來た子供は普通能力の大人と同様な成績である。

中等學校で幾何學や用器畫法が生徒の頭を練り鍛へるのに大へん有効である通りこの分解法は子供の學習上意味ある事である。さればはめ繪の如き玩具を弄ぶのも決して無益な事ではない。

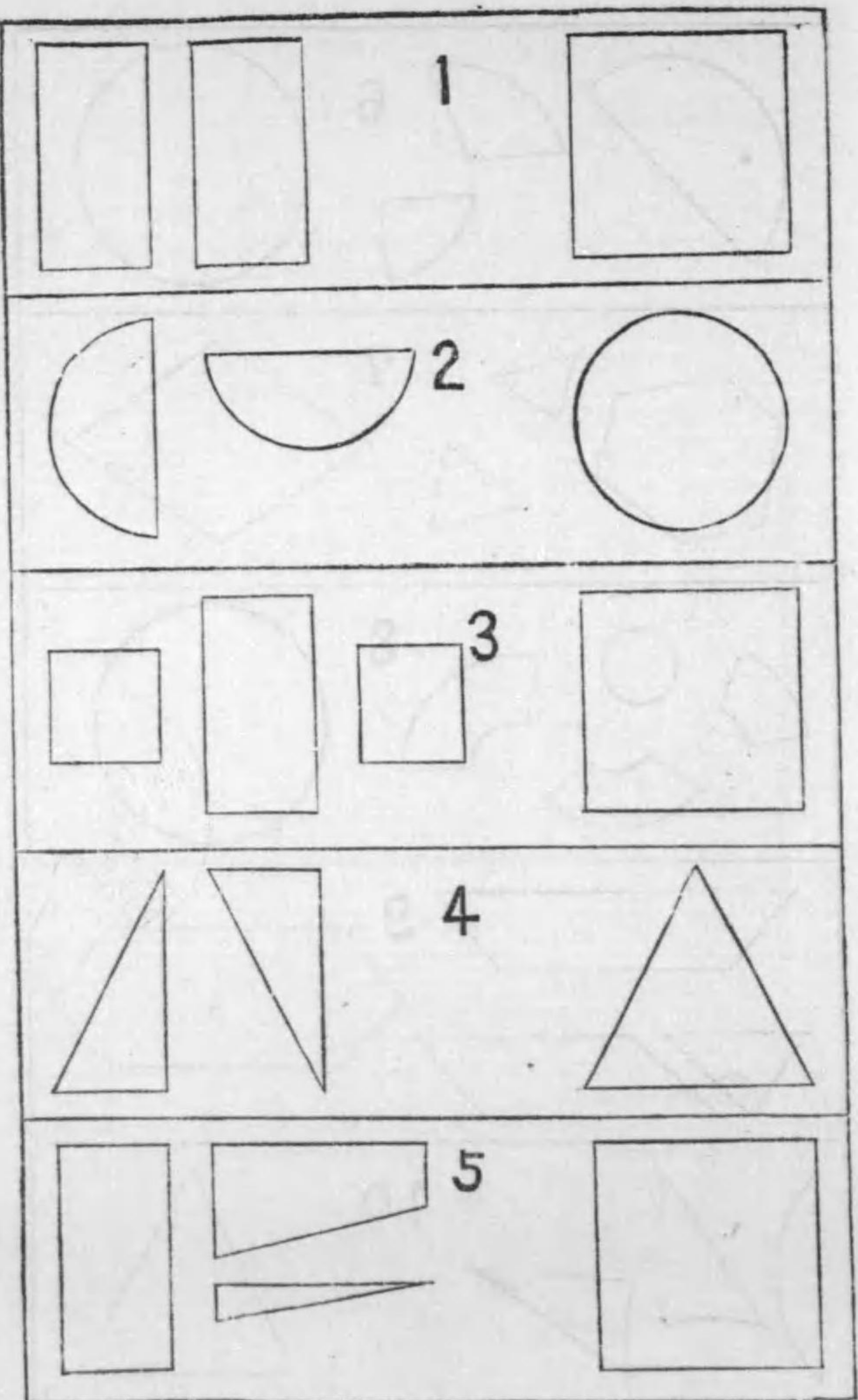
一、(大正十一年度東京高等師範学校附属中学校試験問題)

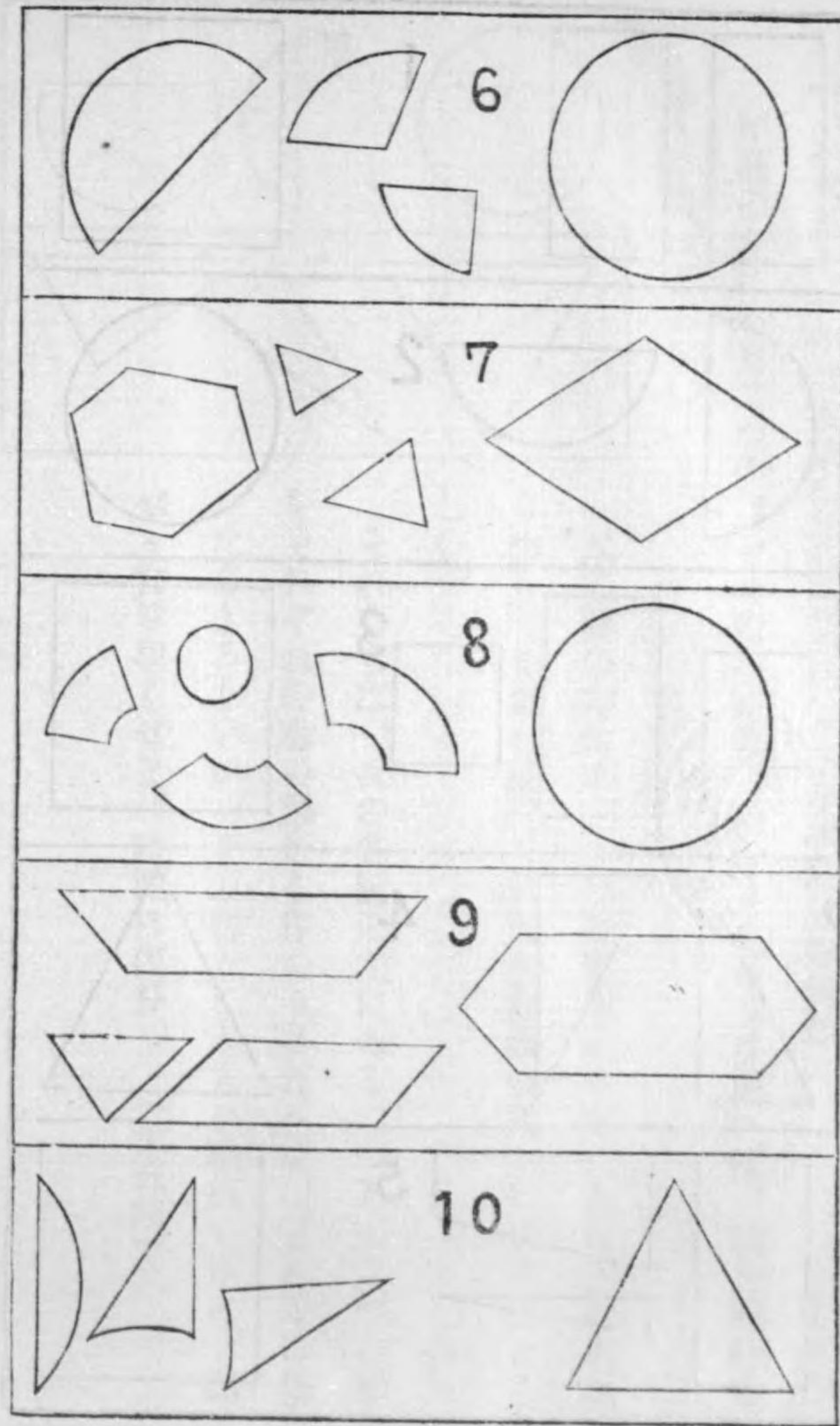
甲圖の左にある二つの形をその右にある圓から作らうと思へば、圓を點線の通りに切ればよろしい。



又乙圖の左にある二つの形をその右にある三角形から作らうと思へば、三角形を點線の通りに切ればよろしい。

それならば、次の各圖の左にある二つ乃至六つの形をそれぞれの右の形から作らうと思へば、どんなに切つたらよろしいか。その切りとり方を點線で示せ。出来るだけ早くせよ。時間は四分。(十五題)

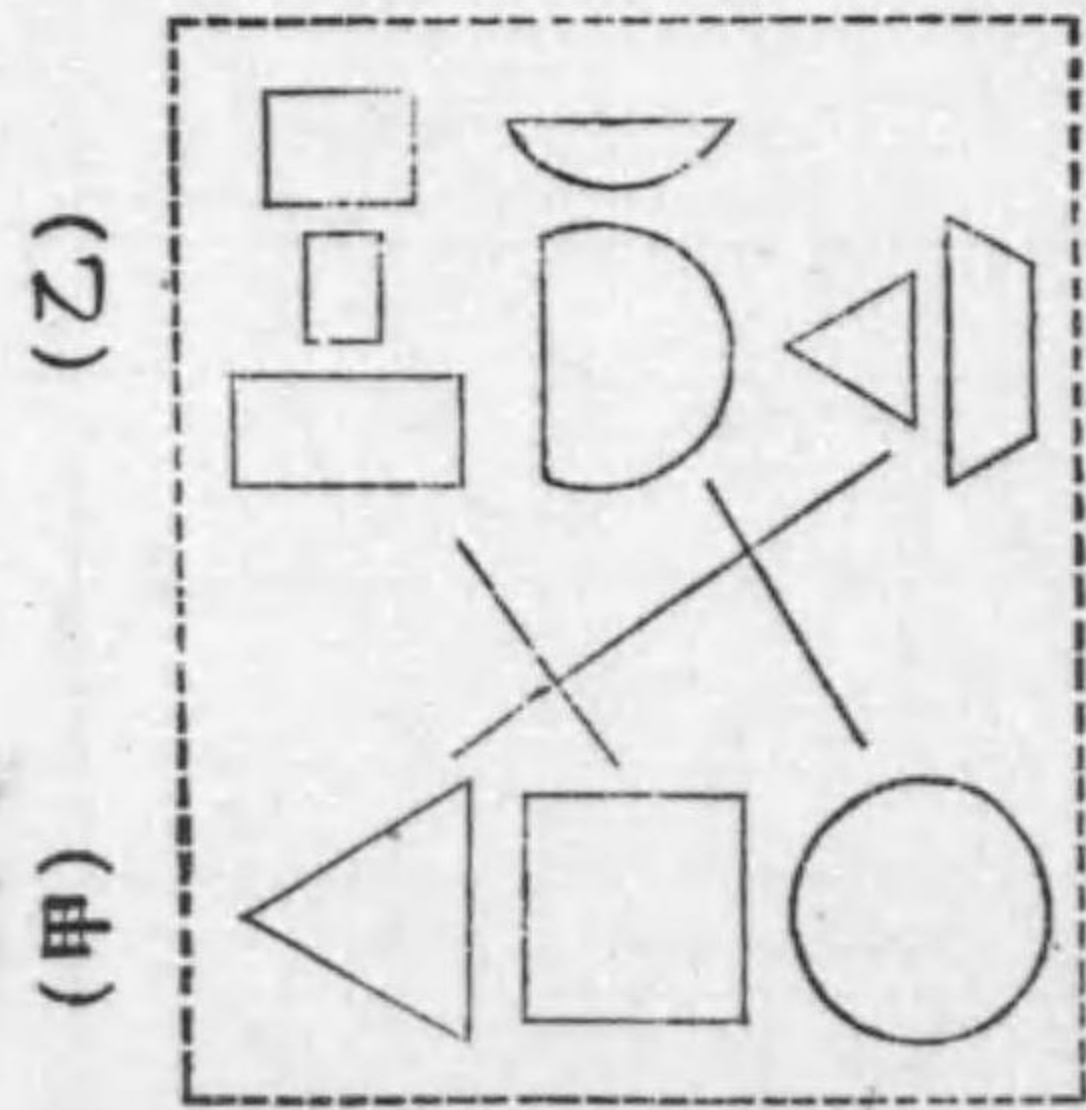




二、組合せる場合 (東京黒門小學校考案)

次の手引にある例でも判る通り、乙圖の三組は甲圖の三組をそれぞれ適當に切り分けて順序をかへて列べたのである。そこで乙組のどれが甲組のどれを切り分けたかを見分け、線を引いてその組合せを作る方法である。線の引き方は手引の通り。

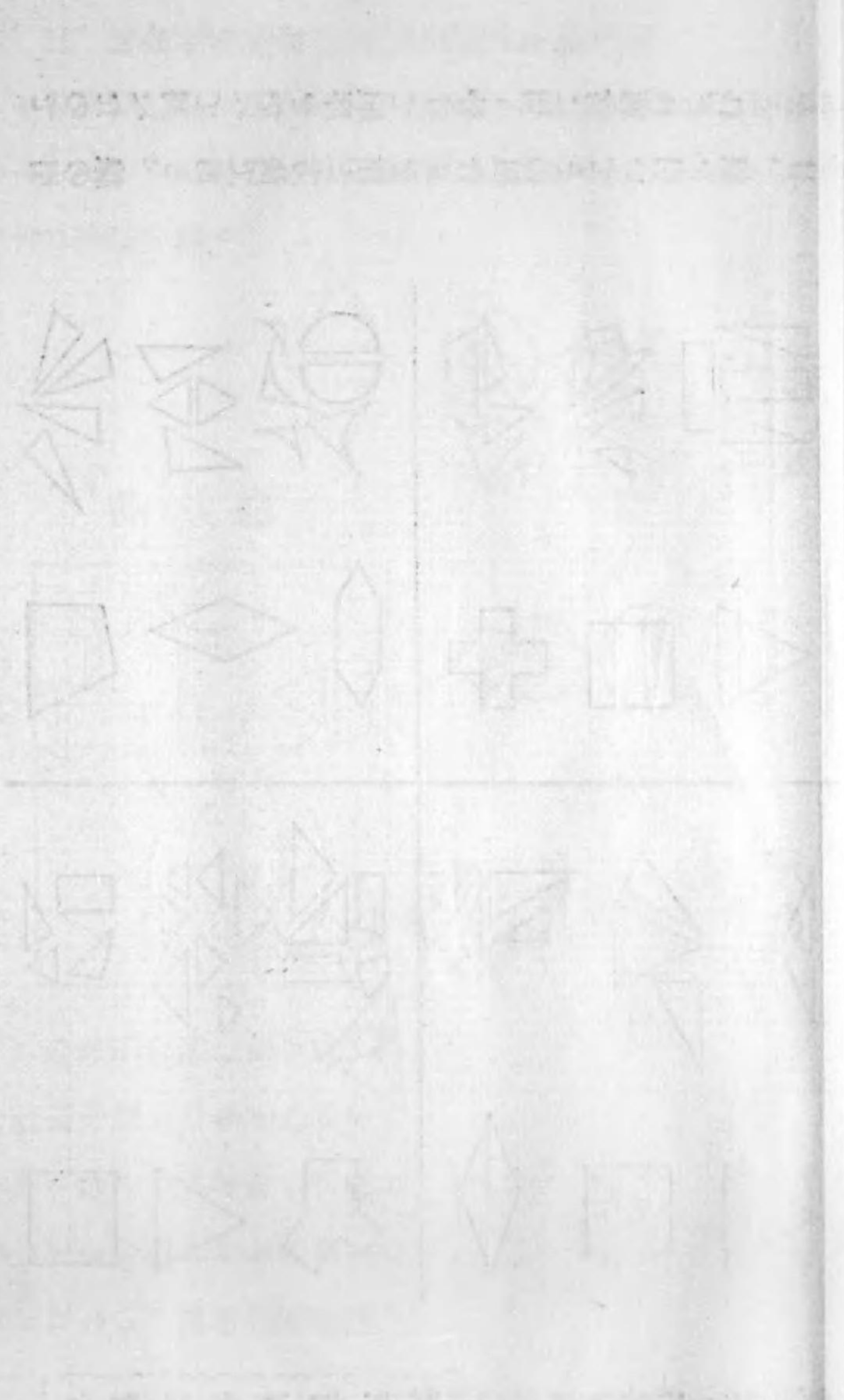
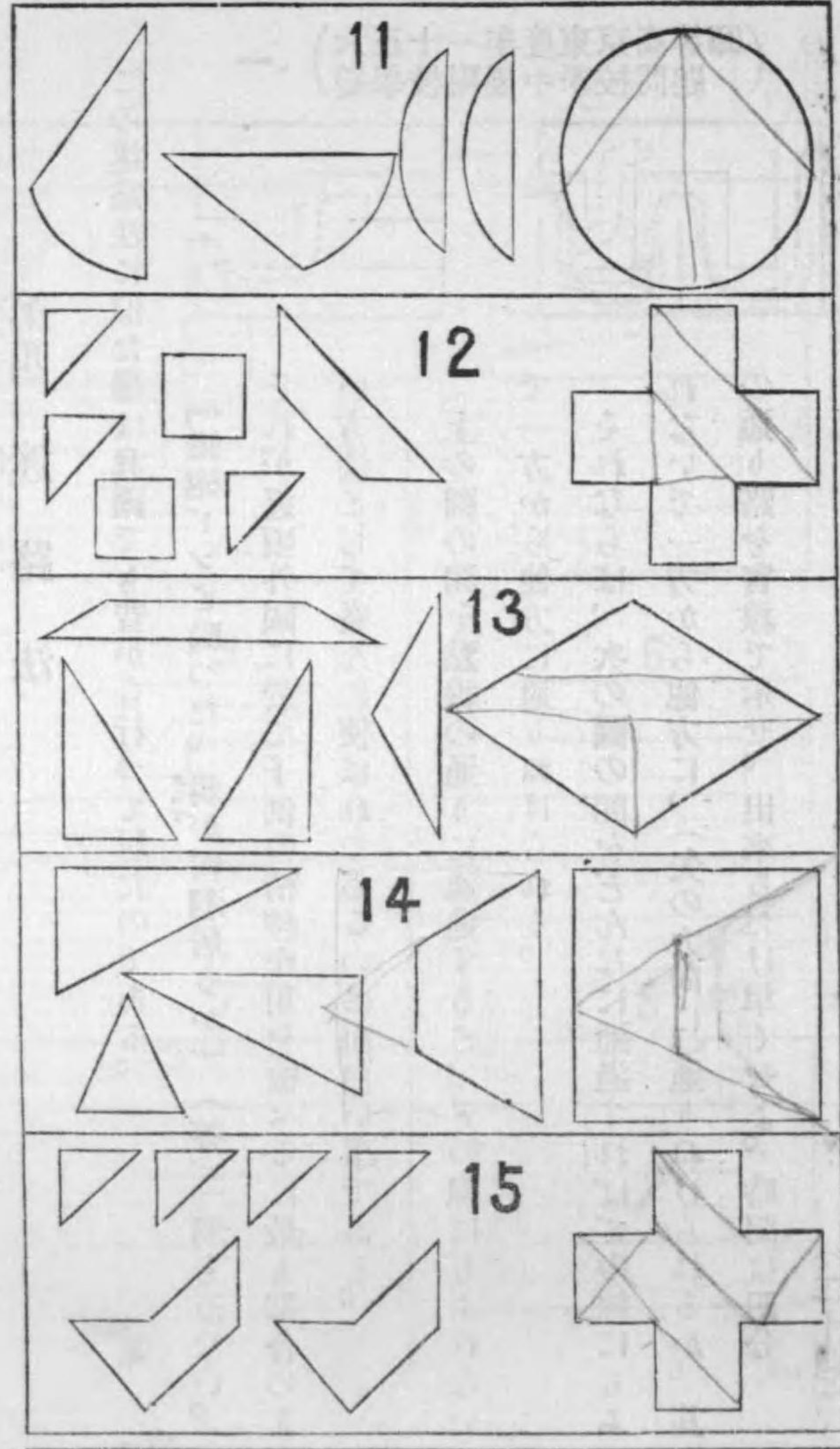
手 引



この手引の例に習つて、下の六組の圖につきどれがどれを切り分けたかを考へ、線を引いてその組合せを作つてこらんなさい。時間は五分間。

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
| | | | |

| | |
|----|--|
| 11 | |
| 12 | |
| 13 | |
| 14 | |
| 15 | |



第四 迷路法

この迷路法に似た事は我國でも昔から行つて居たのである。

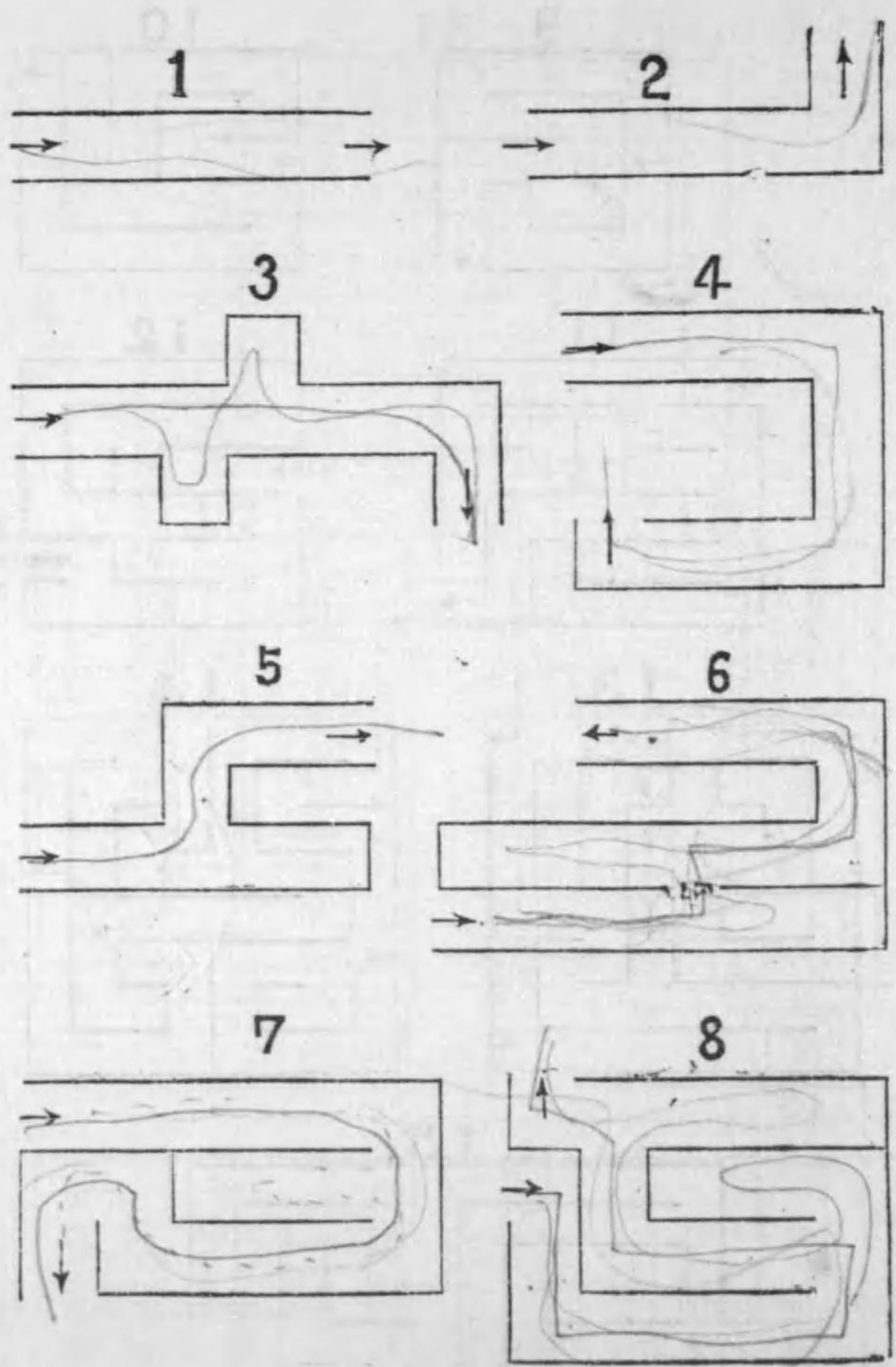
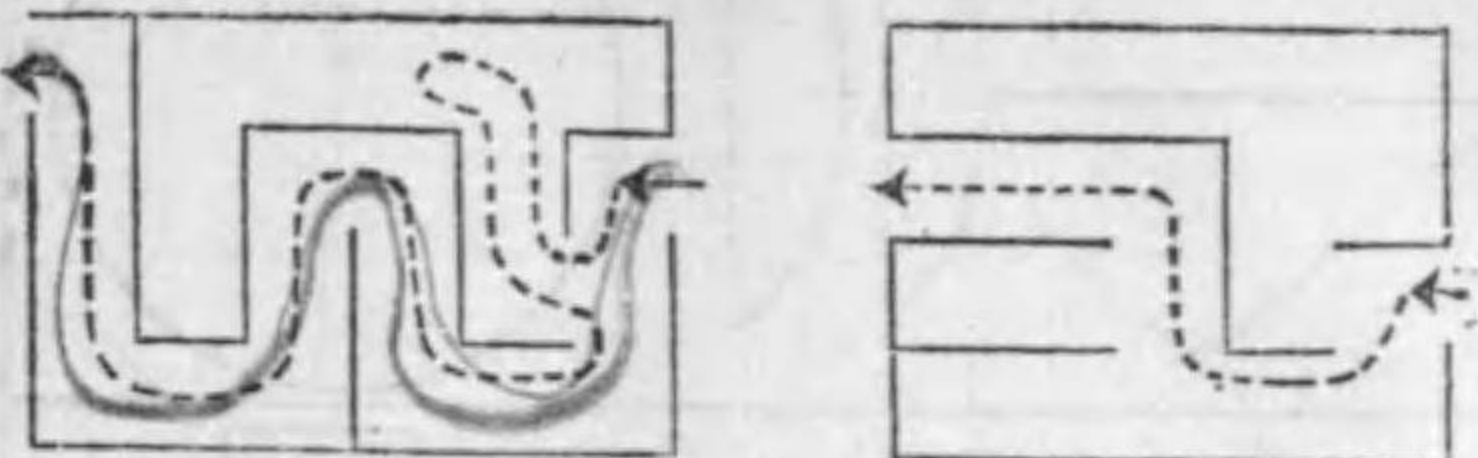
『鐵砲ドンと鳴つた。鴉カラスが何羽居るか』(答)一羽もゐない。
それが近頃外國に於て子供の精神作用を檢べるに最も都合のよい方法として盛んに使はれてゐるのは面白い事である。

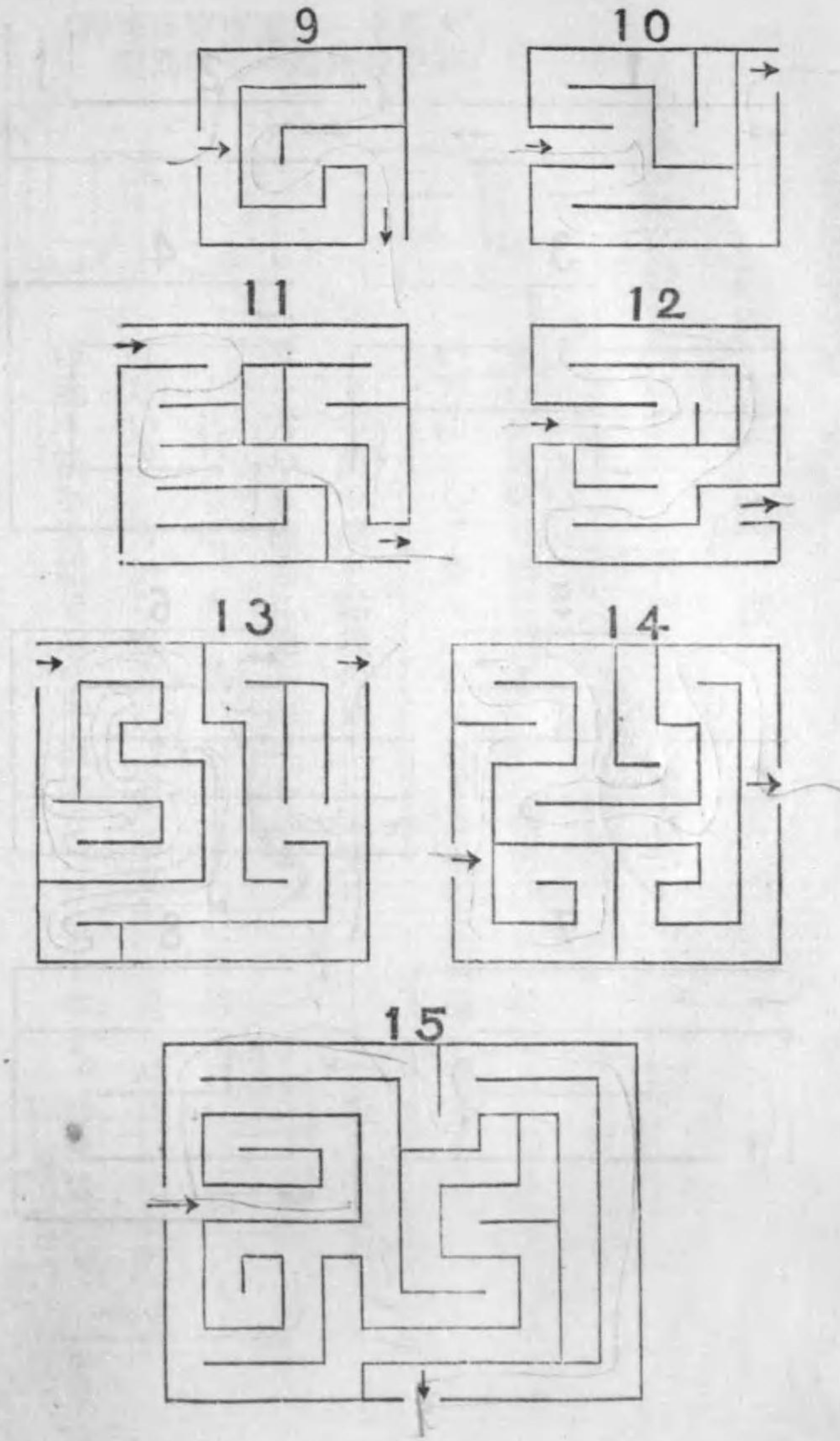
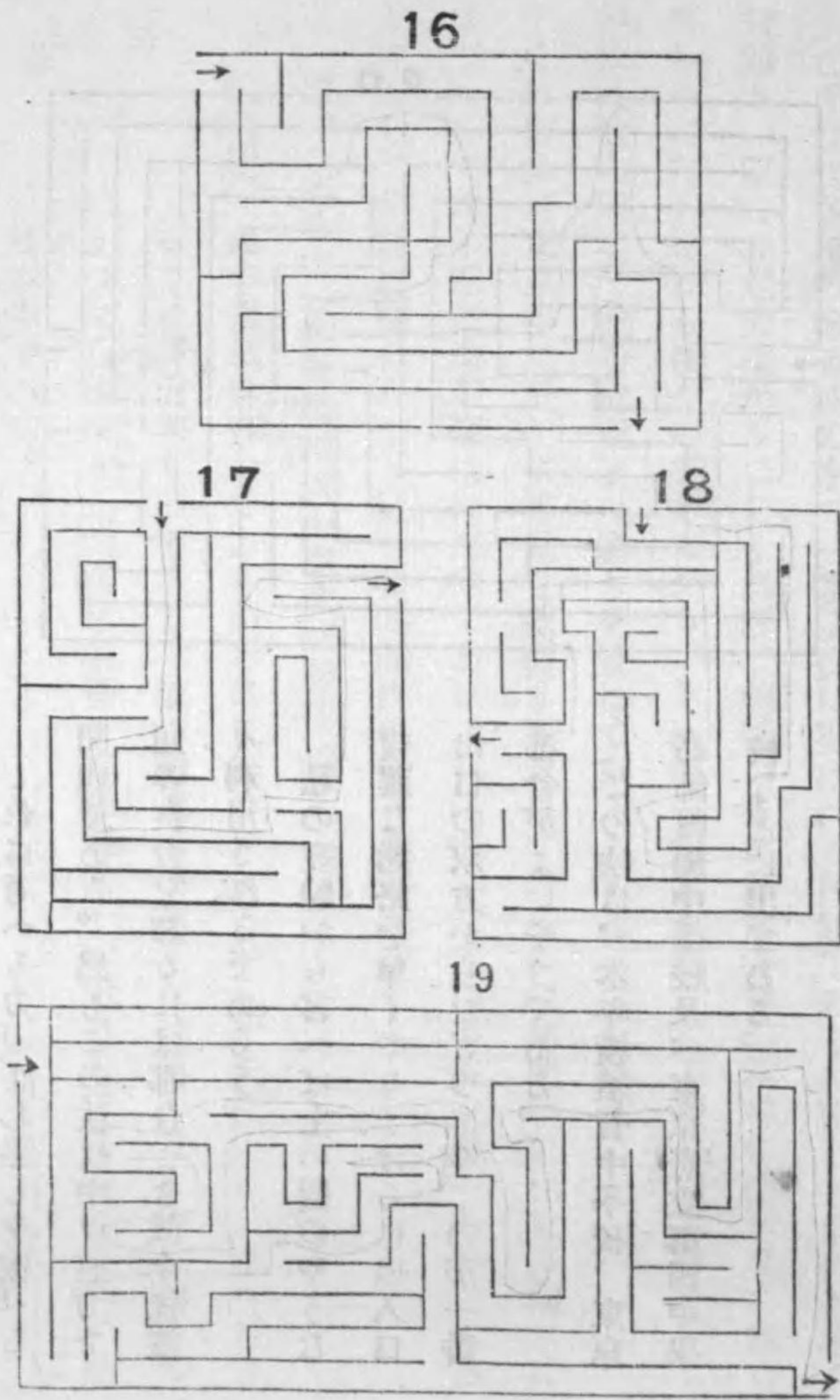
上の圖の間を點線の通りに通過すると、どの線にもふれないで一方から他方に通りぬけられる。

それならば、次の圖の間をどんなに通過すればどの線にもふれないで一方から他方に、(矢の方向に)通りぬけられるか。其の通り路を實線で示せ。出来るだけ早くせよ。時間は四分

(二十題)

大正十一年東京高等師範學校附屬中學問題、一

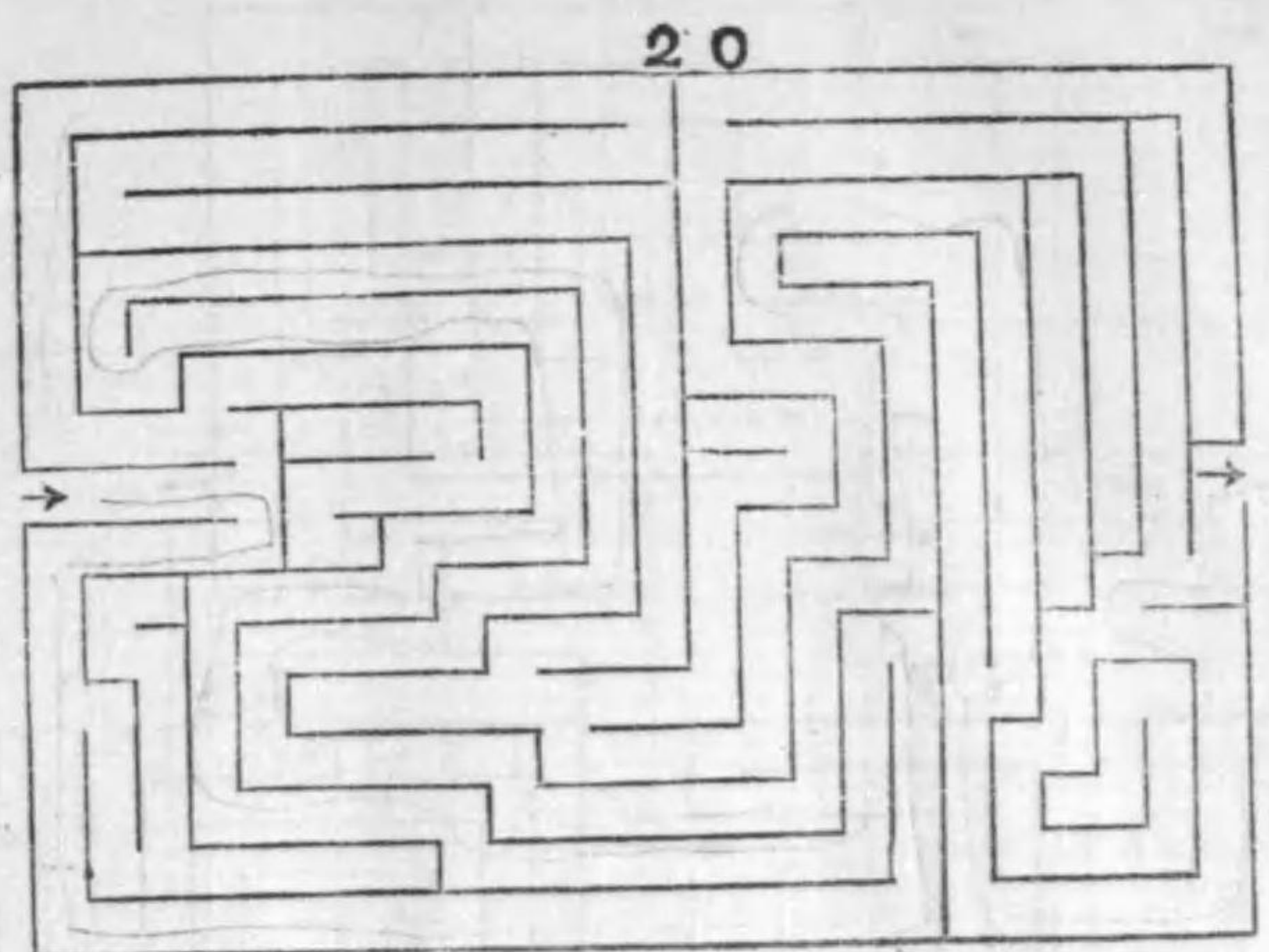




これは考へる力のよし悪しを檢べる問題である。然もこの法は中々有力で頭の良否を知るには都合よき故今後益々利用されるであらう。

私の經驗から言へば上の圖のやうな複雑な迷路を早くやりとげるには入口出口の双方からたどつてゆくのが一番都合がよいやうである。

この法は、本年横須賀中學校、東京高師附屬中學校及び東京府立第四中學校などに出てゐる。

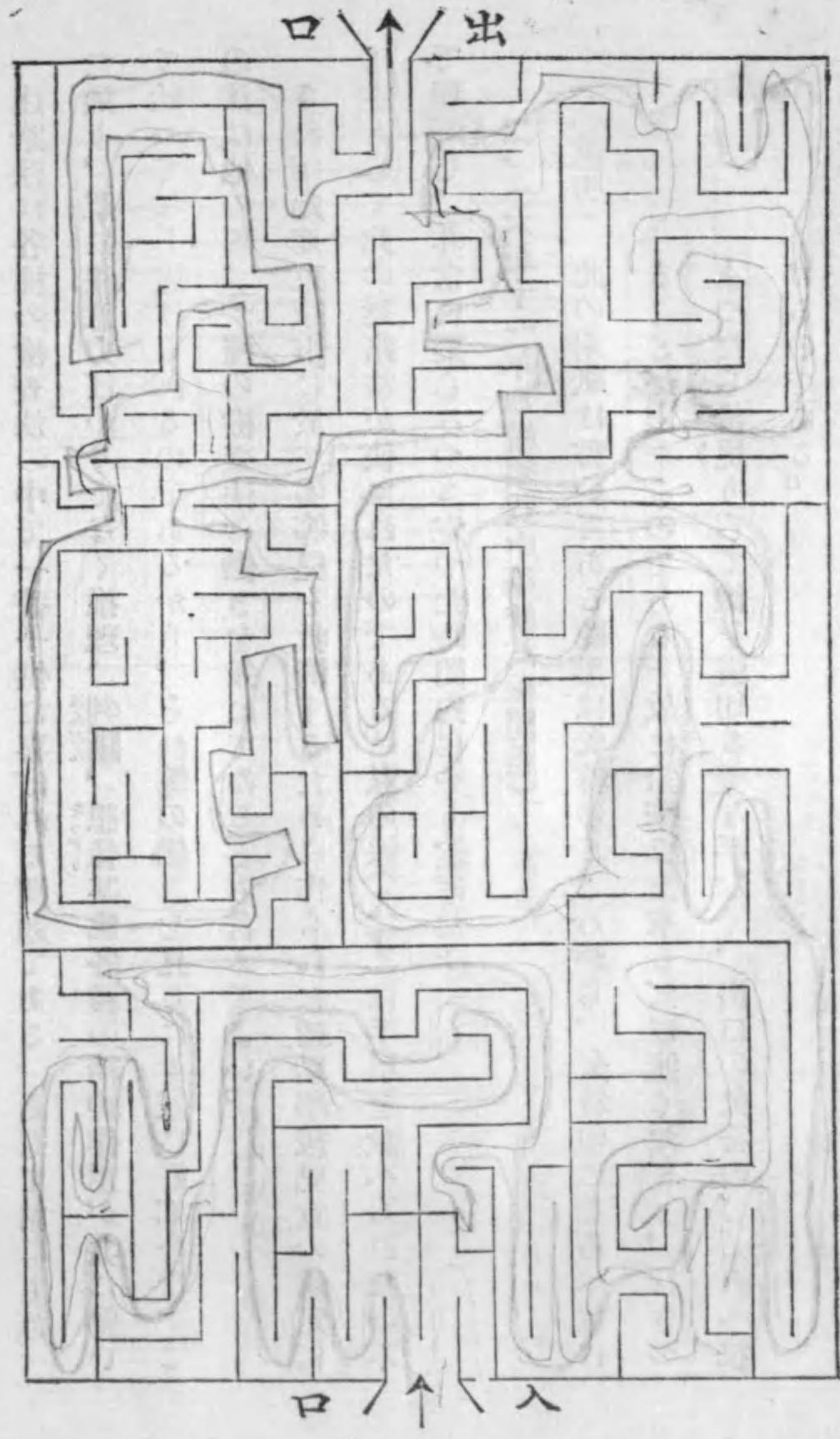
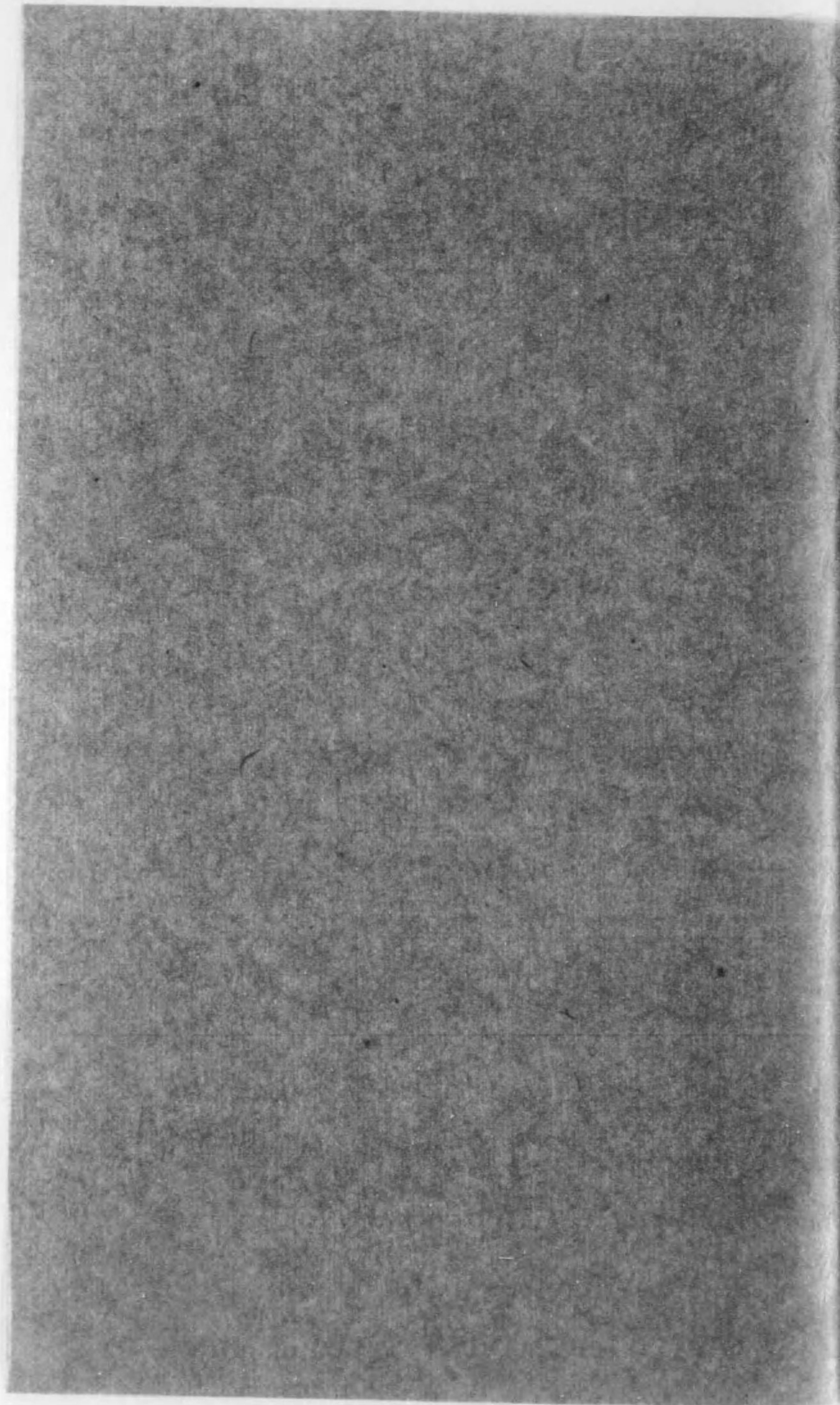


迷路法は各種の検査法の中で一番子供に喜ばれる問題である。そして前にも述べた通り、單に注意力ばかりでなく推理、判断、想像其他各種の精神作用が共に働いて始めてなし遂げられるのであるから、それ等の働きを見るにも誠に好都合で、この法は他の四、五種の検査法の働きを兼ねてゐるとも言ふてよい。

されば此度東京市に於て劣等兒を救済するために作られた補助學級兒童の選定には主として此の迷路法が使はれたのである。私の娘(八才)は手引を教へられたのみで理解し、非常に楽しみつゝ定つた時間内にやり遂げた。

二、(大正十一年度横須賀中學校試験問題)

(説明) 此の用紙に書いてある圖形は矢符のところから、矢符のところへ抜けることが出来るのである。故に鉛筆で出来るだけ速くたどり、行きつまつたら後戻りして線を横切る様な事なく、出口の矢符のところへ抜けるのである。



精神検査標準問題集

この解答をつけたのである。

してよいか一寸判断はんだんに迷ふやうな問題もあるので(初めて出會ふ人々には)出来得るやうに工夫されてある。けれども多數の問題の中には、いづれに

□精神検査の問題は一般にやさしくして、普通有能力がある者ならば誰でも

精神検査問題 解答の部

この解答をたよるな!!
實力主義を忘れるな!!

□そこで、第一章の字を消す場合や、第二章の置きかへる法や、第九章の覺える法のやうな極くやさしい問題にはその章全體の解答をばぶき、第三章の組みたてる法や、第五章の反對と似よりの法や、其他の章には一部分の解答をばぶいた場所がある。

(5) ユ、ス、マ、タ、カ、ウ、キ (東京府立第三中學校問題)

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|------|-----|------|----|------|----|-----|----|
| (31) | スマウ | (26) | マタ | (21) | タスキ | (16) | キタ | (11) | マキ | (6) | マス | (1) | マユ |
| (32) | キスウ | (27) | カマス | (22) | ウマカタ | (17) | カキ | (12) | タカ | (7) | ウス | (2) | カユ |
| (33) | ユウカタ | (28) | キウカ | (23) | カタキ | (18) | キウス | (13) | カタ | (8) | タマ | (3) | ユカ |
| (34) | | (29) | スキマ | (24) | ウスユキ | (19) | ユカタ | (14) | ウタ | (9) | カマ | (4) | ユキ |
| (35) | | (30) | ウキ等 | (25) | スキ | (20) | ユウキ | (15) | タキ | (10) | ウマ | (5) | カス |

二、同一文字を二回以上使用する場合

(1) ル、セ、イ、タ、ア、ツ、コ

| | | |
|--|----|----|
| | セル | セル |
| | ツル | ツル |
| | セイ | セイ |
| | イセ | イセ |
| | アセ | アセ |
| | タイ | タイ |
| | アイ | アイ |
| | ツタ | ツタ |
| | タツ | タツ |
| | タイ | タイ |
| | コ | コ |

(2) サ、ノ、ハ、ラ、テ、カ、ウ

| | | |
|------|------|-----|
| カウテウ | ハハ | サラ |
| 等 | カラカサ | サカカ |
| | カテ | カサノ |
| | ノラ | ノハラ |
| | カハラ | ハラ |
| | カウカ | ハカ |
| | カハ | カテ |
| | サハラ | カラ |
| | ノウカ | ウラ |
| | サラサ | ササ |

第二 文章を組み立てる場合

一、簡単なる場合

- 1 驢馬が草を食ふ。
- 2 山の上に月が出ました。
- 3 晝は太陽の光であかるい。
- 4 木の枝に鳥がゐます。
- 5 生徒の成績が好いので先生が喜んだ。
- 6 海の中に魚が泳いで居る。
- 7 山から出る水が集つて川になる。
- 8 飲酒しすぎて貧乏になる人が澤山ある。
- 9 市中の街路はにぎやかだ。

- 10 西の空が赤い、夕やけだ。
- 11 松の葉は冬でも青い。
- 12 軍人は國家の柱石だ。
- 13 インキは洋紙へ字を書くのによい。
- 14 公園にベンチがあります。
- 15 田の中に水が一ばいあります。

二、複雑なる場合

- 1 子供が川ばたの花をつんでゐます。
- 2 向ふの山で馬が草を食つてゐます。
- 3 槍を持つた土人が家の中から出て來ました。
- 4 女の子が猫に着物を着せました。
- 5 電燈の下で學者が机に向つて本を見て居ます。

注意 これはほんの一例にすぎません。まだ色々に組み立てられます。このほかに、どんな工合に作れるか自分でいろいろな文を作つてごらんなど、いろいろと出さう。

第四章 排列法

第一 簡単なる場合

- 1 イ、製造元——問屋——仲買(仲買—問屋としてもよろし)——小賣——需要家
ロ、あかんぼう——幼年——少年——青年——老年
ハ、羊——羊毛——毛糸——ラシヤ——洋服
- 2

イ、日は——東から——出ます。

ロ、一年は——十二ヶ月——です。

ハ、油は——水に——浮きます。

ニ、大砲は——大きな——音を——させます。

ホ、ペンと——インキは——字を——書くに——用ゐられます。

3 (東京府立第三中学校問題)

はじめて 東京見物に 来た 人は 大てい まづ 第一に 宮城を さして まゐります。

4

イ、○蚊が出たから蚊張を吊つた。

ロ、×樹の葉が落ちたから冬が来た。

ハ、×血が出たから手を切つた。

ニ、○暑いから麥稈帽子が出来た。
ホ、×電燈がついたから日が暮れた。

第二 複雑なる場合

(1) (東京府立第五中學校問題)

- 5 散歩をよして
- 1 今日晴天ならば
- 6 終日讀書をして暮しました
- 2 上野に散歩しようと思つてゐました
- 4 生憎の雨ですから
- 3 ところが

- 4 それ故に人をしてよくその職に勤勉ならしむるには
- 3 然し普通如何なる人にも怠惰の性質はまぬかれ難いものである
- 1 若し人が皆うまれつき勤勉なものならば
- 5 賞與とか其他の方法で奨励の道をとらねばならぬ
- 2 賞與とか其他の方法で奨励などする必要はない
- 4 決して人に賞めてもらはんが爲ではない
- 7 己が行を慎まねばならぬ
- 3 人たる道を完うせんが爲であつて
- 2 悪い事をしないのは
- 6 見たりきいたりしない所でも
- 1 我等が善い事をなし
- 5 だから善人にならうとするには他人が

(2) (東京高師附屬中學校問題)

- 1 2 世界に
- 5 かも知れません
- 1 ワシントン會議は
- 4 もたらす
- 3 永久の平和を
- 2 3 暴風雨は
- 5 三日月刻より一層
- 4 其後依然としてやまず
- 1 信越の國境
- 6 猛烈となりました
- 2 方面の

3 10 現金

- 3 大塚
- 5 ある店へ
- 7 折柄主人は不在だったので
- 6 一人の強盜が押入り
- 2 小石川區
- 9 其店員を短刀でおびやかす
- 4 車庫前の
- 1 東京市
- 8 警察のものだといつはり
- 12 強奪逃走しました
- 11 百十四圓を

| | | | | | |
|----|-----|-----|----|----|----|
| 7 | 長い | 短い | 8 | 低い | 高い |
| 10 | すき | さらひ | 11 | 黒い | 白い |
| 9 | 大きい | 小さい | | | |
| 12 | 開く | 閉ぢる | | | |

其二 (反對の語を書く場合)

| | | | | | | | | |
|----|-----|-----|----|-----|-----|----|------|-----|
| 1 | 短カイ | 長イ | 2 | 悲シム | 樂シム | 3 | 衰ヘル | 榮ヘル |
| 4 | ネル | 起キル | 5 | 危険 | 安全 | 6 | セマイ | 廣イ |
| 7 | 泣ク | 笑フ | 8 | 冷タイ | 暖イ | 9 | 野蠻人 | 文明人 |
| 10 | 涼シイ | アツイ | 11 | 罰スル | 賞スル | 12 | 同ジ | 違フ |
| 13 | 成功 | 失敗 | 14 | 廣イ | 狭イ | 15 | 劣ル | 優ル |
| 16 | 近イ | 遠イ | 17 | 惡 | 善 | 18 | 攻メル | 守ル |
| 19 | トマル | 進ム | 20 | 負ケル | 勝ツ | 21 | 尖ガル | マルイ |
| 22 | 直線 | 曲線 | 23 | 平和 | 戰爭 | 24 | 困難 | 容易 |
| 25 | 早イ | 遅イ | 26 | ウスイ | アツイ | 27 | キタナイ | キレイ |

| | | | | | | | | |
|----|-----|-----|----|-----|-----------------------|----|-----|------|
| 28 | 益 | 損 | 29 | 古イ | 新シイ | 30 | 終リ | ハヂマリ |
| 31 | 前 | 後 | 32 | 太イ | 細イ | 33 | ヒロフ | 落ス |
| 34 | 鋭イ | ニブイ | 35 | カヘル | ユク | 36 | 集マル | 散ル |
| 37 | 白イ | 黒イ | 38 | 不足 | アマル | 39 | クモル | ハレル |
| 40 | チヂム | ノビル | 41 | ウカブ | シヅム | 42 | 安心 | 心配 |
| 43 | 動ク | 止ル | 44 | 左 | 右 | 45 | 昇ル | 下ル |
| 46 | 浅イ | 深イ | 47 | 正シイ | 邪 <small>ヨコシマ</small> | 48 | 結果 | 原因 |
| 49 | ウソ | マコト | 50 | マレニ | シゲク | 51 | 勇氣 | 臆病 |
| 52 | 支出 | 收入 | 53 | 軟カ | 硬イ | 54 | ネムル | サメル |
| 55 | 寡言 | 饒舌 | 56 | 送ル | 迎ヘル | | | |

(其三は解答を略す。)

其四 (東京府立第五中學校問題)

第五章 反對類似法 第四 ことばによる場合

- (1) さむい
 (2) せぼねがある
 (3) 熱がある
 (4) 指導者
- 〔動物〕としてもよい)
 (「あたゝかい」でもよい)
 (「子供のためになる」でもよい)

其五 (東京府立第四中學校問題)

- | | | | |
|--------|--------------|------------|-----------|
| 1 貨幣 | 2 樹木(又ハ植物) | 3 衣服 | 4 東洋人 |
| 5 動物 | 6 刃物 | 7 裁縫道具 | 8 飲ミモノ |
| 9 食事用具 | 10 學用品(文房具) | 11 お役所 | 12 宗教 |
| 13 職業 | 14 氣體 | 15 外國に居る官吏 | 16 物ヲ送ル機關 |
| 17 化粧品 | 18 人家で見られるもの | 19 官吏 | 20 寶石 |

其六 (東京府立第七中學校問題)

| | | | | | |
|------|-------|------|------|------|--------|
| 泳ぐ | 溺れる | 油断 | 注意 | 富豪 | 貧乏人 |
| 平和 | 戦争 | 正直 | いつはり | 洪水 | かんぱつ |
| 辛抱 | 怠惰 | 晴 | 曇 | 白い | 黒い |
| 止る | 進む | うれしい | 悲しい | 慈善 | ざんにん |
| 温暖 | 寒冷 | 眠る | さめる | 亂暴 | 温順 |
| 神 | わるもの | 賢明 | 愚鈍 | 柔い | かたい |
| ぼんやり | はしつこい | 笑ふ | 泣く | 疑はしい | まことらしい |
| 平凡 | 非凡 | 成功 | 失敗 | なぐる | なでる |
| 肥沃 | 瘠地 | 真面目 | するい | 決断 | 優柔不断 |
| 愛する | にくむ | 遊ぶ | 努む | 濁る | すむ |
| 開く | 閉づ | 罪 | 功 | 舶來品 | 和製品 |

注意 この問題も正しく答へるのには中々困難である。中でも、神、罪、慈善、

遊ぶ、油断、なぐる等の中には深く考へれば考へる程容易に答へられない場合がある。然し子供の實力はどんなか、常識はどんなかを見るためであるか

ら、大體當つて居れば合格とするのである。唯ここに注意して置かねばならぬのは、「平和」に對して「不和」とか、「正直」に對して「不正直」など不の字をつけて答へる人が澤山ある事である。之は勿論不合格で、此外「……でないもの」とか「非^{アラン}」とか「……せぬ」など答へるのもよろしくない。

二、程度高きもの

其一 (東京府立第五中學校問題)

| | | | | |
|------|--------|-------|-------|------|
| 1 | 6 | 1 | 1 | 5 |
| (残酷) | (笑ひ) | (手) | (治療) | (松) |
| 2 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| (鼠) | (容易) | (火箸) | (馬車) | (雞) |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| (温度) | (容易) | (吠ゆ) | (歩む) | (梅) |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| (亡ぶ) | (車をひく) | (燃える) | (晴れる) | (臆病) |

其二 (東京女子高師附屬高等女學校問題)

| | | | | |
|-----|----------------------|-----|------|-----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 甚ダ | 悲シム | 去ル | 話ス | 良ル |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 笑フ | 縮メル | 憤ル | 可愛想ナ | 將軍 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 失セル | 受ケル | 正シイ | 勇シイ | 臆病 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 義貞 | 草臥 ^{クサヒ} レル | 敗レル | 奪フ | 幾度モ |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 大阪 | 光ル | 小銃 | 咲ク | 少イ |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 書籍 | 内 | 景季 | 終 | 衰ヘル |
| 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 勵ム | 喜バシイ | 猫 | 上手ニ | 惱ム |

其三 (東京女子高師附屬高等女學校問題)

| | | | | |
|-----|-----|------|----|-----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| タバコ | 石鹼 | 雀 | 電話 | 薪 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 水車 | ツユ | タンポポ | 鏡 | 水兵 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| カゼ | 新高山 | イモ | 時計 | 尊氏 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 鍬 | 義家 | 牛 | クツ | 栗 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| ユビワ | 螢 | タコ | 琴 | シナ人 |

第六章 性質摘出法

- 一、時計 (音くさり 針 振子 機械)
- 二、犬 (尾 白いくさり 鼻 くびわ)
- 三、歌 (ききてオルガン おどり 聲 節)
- 四、紙 (文字 端 すかし 表面 書物)
- 五、學校 (教師 ビアノ 電燈 校舎 池)
- 六、猫 (鼠 目 あし 黒い 尾が長い)
- 七、自動車 (車輪 運轉手 發動機 掩ひ 富貴)
- 八、蛇 (毒 舌 足 蛙 骨)
- 九、病氣 (不快 藥 回復 醫師 容態)

- 十、葉書 (繪紙 切手 宛名 長方形)
- 十一、都會 (自動車 家屋 動物園 街路 水道)
- 十二、讀書 (本 人 繪 机 音聲)

第七章 聯想法

第一 一部より全體を考え出す場合

一、上野文學士の考案によるもの

- 1 窓……………家
- 2 枕……………寢床
- 3 嘴……………鳥
- 4 齒車……………機械
- 5 槓杆……………はかり
- 6 花瓣……………花

- 7 薬……………病院 8 刀……………刀物 9 そで……………衣服
 - 10 表紙……………帳面 11 馬車……………車 12 ページ……………本
 - 13 鼻……………顔 14 帆……………船 15 煙突……………かまど
 - 16 心棒……………車 17 雄蓋……………花 18 ボタン……………洋服
- (二、三、四には單に答だけを書いて置く。)

二、平田文學士の考案によるもの。

- 1 鳥 2 枝 3 船
- 4 家 5 魚 6 顔
- 7 空 8 衣服 9 一日
- 10 學校 11 お宮 12 橋
- 13 花 14 下駄 15 港
- 16 本 17 都會 18 洋服

19 飛行機

三、ウツドヲース氏及びブエルス氏の考案によるもの。

- 1 身體 2 戸 3 本
- 4 手 5 鳥 6 一日
- 7 刀物 8 寢床 9 かまど
- 10 金屬 11 衣服 12 土
- 13 船 14 ヨーロッパ洲 15 魚
- 16 寺 17 一年 18 顔

四、(東京高等學校問題)

- 1 本 2 衣服 3 一日 4 顔 5 手 6 軍艦
- 7 ヨーロッパ 8 食事 9 山 10 花 11 手 12 机
- 13 家 14 刀物 15 車 16 兵庫縣 17 大正十年 18 木

- 19 獸
- 20 木
- 21 昆虫
- 22 袋
- 23 陸地
- 24 家族

第二 全體より一部を考え出す場合

一、バイル氏の選びたるもの

- 1 山……………(土)
- 2 都市……………(人)
- 3 金屬……………(金)
- 4 家具……………(火鉢)
- 5 機械……………(發電機)
- 6 著者……………(バイル氏)
- 7 遊星……………(火星)
- 8 河……………(アマゾン河)
- 9 書籍……………(算術書)
- 10 大洋……………(太平洋)
- 11 果實……………(梨子)
- 12 國……………(日本)
- 13 動物……………(犬)
- 14 鳥……………(スズメ)
- 15 食物……………(米)
- 16 湖……………(琵琶湖)
- 17 工具……………(カンナ)
- 18 魚……………(鯛)
- 19 貨幣……………(十錢銀貨)
- 20 雜草……………(キノコヅチ)

二、ノースウワーン氏の選びたるもの。

- 1 本……………(讀本)
- 2 樹木……………(松ノ木)
- 3 室……………(理科室)
- 4 玩具……………(こま)
- 5 名……………(太郎)
- 6 皿……………(繪具皿)
- 7 ポート……………(オール)
- 8 競技……………(マラソン競走)
- 9 植物……………(菊)
- 10 魚……………(鯛)

三、(東京府立第五中學校問題)

(答案は解、第二〇頁にある。)

第三 配り分ける場合

- 1 人 兄、大工、妹、母、先生。
- 2 貝 はまぐり、たにし。
- 3 魚 きんぎょ、たひ、こひ、かつを、ふな。
- 4 刃物 小刀、はさみ、刀、ナイフ、やり。

5 果物 なし、りんご、柿、みかん、ブドウ。

注意 鉛筆、半紙、空、松ノ木、机。の五つは12345の何れにも配り分けることは出来ない。

第八章 補充法

一、

- 1 虹には七つの色がある。
- 2 父と母とは外出しました。
- 3 夏は夜がみちかい。

二、

- 4 梅は櫻程 うつくしくないけれども櫻よりも香が良い。
- 5 寒暖計は 温度 を はかる 機械です。
- 6 雨 がふるかも知れません。傘 をお持ちなさい。
- 7 餘り おそく まで 遊んで居ると學校に後れます。
- 8 私共は毎年 夏 になると海岸へ 海水浴 に出かけます。
- 9 驅逐艦が三本の 煙突 から盛に黒い 煙 をはいて真白い 浪 を立てて走つて居ます。
- 10 すさまじい勢で落ちる 瀧 の水を利用して水力 電氣 を起す爲に 發電所 を建てました。

- 1 冬は 夏よりも 澤山着物を着ます。

- 2 東京に若し電車が なかつたなら どんなに不便でせう。
- 3 私はリンゴは すきですが 梨はきらひです。
- 4 私は大變急ぎました から 教科書を忘れました。
- 5 三を四倍しても、二を 六倍して も十二になります。
- 6 一間は六尺ですから 三間 は十八尺です。
- 7 犬の足の裏はやはらかですから歩む時は 音がしません。
- 8 魚は水の 中に 泳いで居る。
- 9 男の兒も 女の兒も鞠を もてあそぶ のが好きだ。
- 10 火は熱いが、氷は つめたい。
- 11 墨を する と手が くろく なる。
- 12 太陽 は夕方没して、また朝 出ます。
- 13 出来ることなら吾々はさう いふふうにし たい。

- 14 時間は金銭 より も尊いことが あります。
- 15 一生懸命はたらけば、だれでも えらい 人と なれます。
- 16 歴史は 世 の中に起つた 出来事 の 記述 である。

三、

- 1 この犬は かはい。
- 2 飛行機はちよつとのまに遠い所まで 行く ことが出来る。
- 3 お母さんは新聞を 見 ておいでになる。
- 4 わが國 では 忠と孝とを重んじます。
- 5 十八町は一里の 半分 である。
- 6 山は丘よりも 高い。
- 7 冬は夜が 長く て 晝 が短い。

- 8 勉強を [する] 人は先生に [ほめ] られませう。
- 9 [汽車] は機関車と客車と [から] 出来てゐます。
- 10 あなたがたはかせが [はやる] 時に決して大勢の人の集る [處] に出掛け
てはなりません。
- 11 歴史上最も大きな [戦争] がすんでからもう數 [年] たつた。
- 12 労働者たちは賃銀を増させるため [同盟休業] をする [決議] をした。
- 13 取次がお客に [その] 名を [たづね] た。
- 14 貧乏神も利口で一心に [はたらく] 人を [困ら] せる [こと] は出来ない。
- 15 [規律] は学校でも家庭でも守らなければなりません。

四、(佐藤高等女學校問題)

- 1 東京と横濱との [間] には汽車や [電車] の便がある。

- 2 あの老人の言ふことは [聲] が [低] くてよくきゝ取れない。
 - 3 兎は龜よりも走ることが [おそく] はない。
 - 4 汽車や汽船の [走る] のは火の [熱] の利用によるのである。
 - 5 何もしないで [あそん] で居るのは [らく] の様に見えるが [かへつて] 苦しいものである。
 - 6 事を決するにはよくその [利害得失] を考へてやらねばならぬ。
 - 7 「良薬 [口] に苦し」と云ふ語は [味] のある言葉である。
 - 8 此の公園は新しいから古木は [すく] ない。
 - 9 今日 [さむ] くて [くも] つて居るから雪がふるかも知れぬ。
 - 10 夏 [は] 花は少いが山は [緑] の葉に覆はれて美しくなります。
- (五、六には補充の言葉のみを記す。)

五、(東京府立第五中學校問題)

- 1 短い 2 過はあつたであらう 又は 過がないとは言はれぬ
- 3 身體を強くせねば 4 効用 隨意に得られぬ
- 5 喬木が育たぬ 6 小 さ 又は 狭く
- 7 弱くなる 8 比べる事は出来ない
- 9 晴れてゐる 10 小さい

六、(東京府立第五中學校問題)

- 1 (をさ) (ぎむ) 2 (おそく)
- 3 (あひだ) (きせん) 4 (ゆうびん)
- 5 (えいせい) (おそる) 6 (けんせん) (しんたい)
- 7 (こゑ) (ひく) 8 (ながら) (しらない)

- 9 (うごく) (うごく) (ちから) 10 (てんき) (はげしい) (どこまで)
- 11 (あそん) (らく) (かへつ) 12 (ねだん) (あながちに)
- 13 (おほく) (せいよう) (たくさん) 14 (みわけ) (ありか) (たいせつ)
- 15 (ひどうち) (ねづみ) (ごとし)

このほか答へかたはいろいろあります。どれでも意味が通じればよいのです。

▲練習題

これは第六章性質抽出法(第六五頁)の練習題であるからそのところを見てよく考へれば、だれにでも出来る問題であるが、ともかく次ぎに答だけを書いて置く。

- 1 頭體 4 口 7 土 10 底 水
- 2 室壁 5 かなめ 8 羽毛 11 ふし 聲
- 3 耳目 6 岸 9 樹木 12 人 土地

(第九章は解答を略す)

第十章 定義法

二 試問

- イ、唱歌の時に用ふる楽器である。
- ロ、一生懸命に働くことである。
- ハ、家にかはれて、ワンワンとはへる動物である。
- ニ、さざみ煙草をすふ道具である。
- ホ、時間をはかる器械である。
- ヘ、金属でつくつてインキで字を書く道具である。
- ト、水の上に浮かばして、人や荷物などを運ぶものである。

チ、軸木と箱とをすり合せて火を起すものである。
 リ、水中にすみ全身鱗でおほはれ、えらで呼吸し、ひれで運動する動物である。

三、(東京高等學校問題)

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 1 寒い | 6 着る | 11 明るい | 16 温度 | 21 脚 |
| 2 夜 | 7 さす | 12 硝子 | 17 かむ | 22 時 |
| 3 けづる | 8 まるい | 13 掛ける | 18 國 | 23 密 |
| 4 閉づる | 9 水兵 | 14 敗北 | 19 話す | 24 乳 |
| 5 軽い | 10 知事 | 15 吸ふ | 20 重さ | 25 一尺 |

四、次の語を定義してごらんさい。

- 一、人家も相當にありて商工業の盛んなる町をいふ。
- 二、地理、歴史、理科、軍事其他に關する事物を陳列して、人々の觀覽、

研究等に利便を與へる場所。

- 三、發動機によつて箱車を速く動かして人や貨物を運搬するもの。
- 四、空氣より輕き氣體を滿たせる袋に發動機を取りつけ空中を飛ぶもの。
- 五、産業商工業、教育、美術等社會百般の事業を發展せしめるために、それ等を蒐集公開して、人々の觀覽、研究等に利便を與ふるもの。
- 六、受験者の優劣を知るため問題を出して之に答へさせること。
- 七、辯士が聞き手に述べる意見。
- 八、生徒を立派に教育するやうに學校を治めゆく職。
- 九、金錢衣服食料品等を給與して、貧窮なる人を救助すること。
- 一〇、物事を深く委しく調べきはめること。
- 一一、物事を間違ひなく行はずして、しくじること。
- 一二、自分のみでなく、世の多くの人々に利益になること。

- 一三、萬人に秀れた働きある人。
- 一四、學術等を自ら進んで研究すること。
- 一五、他人に迷惑をかけ、自らの人格をもきづつける行。
- 一六、進んで難艱に當るの元氣。
- 一七、他人に同情し之を良き状態にせんとする心。
- 一八、學術等を深く研究する人。
- 一九、病人に付き添ひ、報酬を得て世話をする婦人。
- 二〇、戦争をする船。
- 二一、眼を閉ぢ、精神の活動の休息せる状態。
- 二二、鐵で造つた湯を沸かす道具。
- 二三、郵便物を差出したり、受取つたりする時の入れ物。
- 二四、藁や布片で造られ、鼻緒のある履物。

- 二五、読み書きの際都合よきやうに造られた臺。
- 三六、軸木に包まれた黒赤其他の色あるシンあり。字を書く文房具。
- 二七、一年の中温度高き、六、七、八の三ヶ月。
- 二八、専ら馬の便をかりて行動する兵士。
- 二九、黄金色を呈し、展性、延性に富み、容易に他物に侵されざる金屬。
- 三〇、電磁石と金屬線の便をかり遠地に通話する器具。

第十一章 推 理 法

第一 數字の場合

一、古川文學士の考案せしもの。

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|------------------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| (一) | 3 | 5 | 7 | 9 | 11 | 13 | 15 | (二) | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 14 | 16 |
| (三) | 30 | 28 | 26 | 24 | 22 | 20 | 18 | (四) | 5 | 8 | 11 | 14 | 17 | 20 | 23 |
| (五) | 60 | 56 | 52 | 48 | 44 | 40 | 36 | (六) | 2 | 4 | 8 | 16 | 32 | 64 | 128 |
| (七) | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 | (八) | 56 | 49 | 42 | 35 | 28 | 21 | 14 |
| (九) | 84 | 79 | 74 | 69 | 64 | 59 | 54 | (九) | 2 | 3 | 5 | 8 | 13 | 21 | 34 |
| (二) | 22 | 21 | 19 | 16 | 12 | 7 | 1 | (三) | 3 | 6 | 10 | 15 | 21 | 28 | 36 |
| (三) | 9 | 16 | 25 | 36 | 49 | 64 | 81 | | | | | | | | |
| (四) | $\frac{1}{3}$ | $\frac{1}{6}$ | $\frac{1}{12}$ | $\frac{1}{24}$ | $\frac{1}{48}$ | $\frac{1}{96}$ | $\frac{1}{192}$ | | | | | | | | |
| (五) | $\frac{1}{2}$ | $\frac{2}{4}$ | $\frac{4}{8}$ | $\frac{8}{16}$ | $\frac{16}{32}$ | $\frac{32}{64}$ | $\frac{64}{128}$ | | | | | | | | |

其二 図形による場合

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | | | | | | | | | |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| | | | | | | | | | |

第三 眞否を見分ける場合

一、古川文學士の考案

- (1) 鶴は鳩より大きい。…………… 眞
- (2) 身體に不眠は必要なものである。…………… 眞
- (3) 正成は正行の子である。…………… 眞

- (4) 梅の花は櫻より先に咲く。…………… 眞
- (5) 騎兵は馬に乗る兵士である。…………… 眞
- (6) 學校に入學したら勉強せねばならぬ。…………… 眞
- (7) 健康な人が最後の勝利を得る。…………… 眞
- (8) 手は歩く爲めの道具である。…………… 眞
- (9) 大抵の花は實を結ぶために咲く。…………… 眞
- (10) 冬になると暖い風が吹く。…………… 眞
- (11) 蛙は人間のために害を爲す。…………… 眞
- (12) 水は酸素と水素と化合して出来たものである。…………… 眞
- (13) 火は酸素の中ではよく燃えない。…………… 眞
- (14) 長良川は鴉飼で名高くない。…………… 眞
- (15) 富山には有名な賣藥がある。…………… 眞

二、(東京府立第三中學校問題)

- 1 一人子が兄弟仲のよい筈はありません。
- 2 死んだ運轉手を療治するのが不合理である。
- 3 曇つた空に星の見える筈がありません。

三、(東京府立第三中學校問題)

これは言葉の順序を置きかへて見て考へるのであるが、その置かへ方は一、(四二頁)の解答を見れば判る。それで真、否の印だけを書いて置く。

- | | | | | | | |
|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| 1 否 | 4 否 | 7 否 | 10 真 | 13 真 | 16 真 | 19 真 |
| 2 真 | 5 否 | 8 否 | 11 否 | 14 真 | 17 真 | 20 否 |
| 3 真 | 6 真 | 9 否 | 12 真 | 15 否 | 18 真 | |

第四 物事を比べる場合

一、檜崎文學士の考案

×イ ○ロ ×ハ ×ニ ×ホ ×へ ○ト ×チ ×リ ×又

注意 此の問題は長さ、廣さ、重さ、かさ、數等を種々につきませである。

だから單位の異なる物は比べられぬ事を十分承知してゐる人は問題に迷はされる事はない筈である。問題をよく御覽なさい。

次に(ニ)と(ト)の二問題は此の學校がどの學校であるか明かでない限り何と答へてよいか困る問題である。實際には大阪市の學校で檜崎文學士が検査された問題である。それで(ト)に○印をつけ、(ニ)に×印をつけたのである。

二、古川文學士の考案

- (1) ○志願者が募集人數より多いから。
- (2) ○少ししか出ないから。

- (3) ○正しい時間を知らず爲め。
- (4) ○日があたらないから。
- (5) ○石の方が重いから。
- (6) ○酸素が含まれてゐるから。
- (7) ○知識を得るため。
- (8) ○地球が丸いから。
- (9) ○敵の眼をくらまして逃げるため。
- (10) ○食物をかみきるため。
- (11) ○寒いから。
- (12) ○養分を取るため。
- (13) ○大切な器官が中にあるから。
- (14) ○日が沈むから。

- (15) ○中の空気がふくれるから。
- (16) ○中に空気がより軽いガスが入れてあるから。

第五 明否を見分ける場合

古川文學士の考案せられたもの。

- (1) 太郎は中學生で次郎は小學生だから太郎が年が上だ。 ○
- (2) 太陽の一番高くなつた時が夕方です。 × (以下問題を略す)
- (3) × (4) × (5) × (6) × (7) ×、○ (8) ×
- (9) × (10) ○ (11) ○ (12) ○ (13) × (14) ×
- (15) × (16) ○

備考 此の問題中には不都合な事が澤山ある。例へば(1)問に於て太郎、次郎が兄弟ならよいが、若し甲家の太郎、乙家の次郎である場合には、よし

や次郎が小學生であつても、年が下だと定める事は出来ぬ。次に(5)問に於て、人力車が通れぬほど狭い道でない限り、自轉車の通れる程度の悪さの道なら人力車と通れぬ事はない。次に(7)問では前半は間違ひで、後半は正しく、(10)問に於て、西洋間には琴を置かぬが普通で、(11)問でも竹の葉にも澤山すじがあるのが當然なのに、「::のに」と言ふ文句があるため、二問とも間違ひとしても差し支へないやうな問題となつてゐる。最後の(16)問もむづかしく言へば、眠れなかつた原因をお茶のせいにする事は正しいか間違ひか容易に定められぬ問題である。

第六 理由を見付ける場合

- × 一、大砲のたまよりも速力が大ではない。
- × 二、曇つた日にはそうでない。

- 三、九九八十一で八十一になる。
- 四、身心がつかれるから。
- × 五、自殺せぬ限り、今から定められぬ。又それまでに死ぬかも知れぬ。
- × 六、明日になつて見なければ分らない。
- 七、水がないと死んでしまふから。

第七 推理法雑問

一、(東京府立第二高等女學校問題)

一、三郎

二、鍵で裏口の錠をあけては入つた。

その夜家人は外出するに當り、まづ門口の戸を内側からしめ、次にうら口の戸に外から錠をおろして出て行つたものと考へられる。盜賊は家人が

戸外に落した鍵か、又は合ひ鍵を用ひ、うら口の錠をはづして家内に入り
うら口から出て元通りに錠をおろし鍵を外に落して逃げたのであらう。

三、丙地の東にある。

四、他殺(左手の甲に左手のあとが逆についてゐたら自殺とも見られる)

五、左腕か、右腕かです。(大てい左腕だと思ひますが、左手で字を
書く人もないとは云はれませんが)

六、四十個。

七、三郎。

八、北。



九、月曜日(若し明治時代なら金曜日となる。)

『私は花子より六日早生れ』といふ場合に花子の生れた日の定めかた。

十月二十八日(私の誕生日) 二十九日 三十日 三十一日(天長節)
 (六日早生れ) (五日早生れ) (四日早生れ) (三日早生れ) (金曜日)

十一月一日 二日 三日(花子の生れた日)
 (二日早生れ) (一日早生れ) (月曜日)

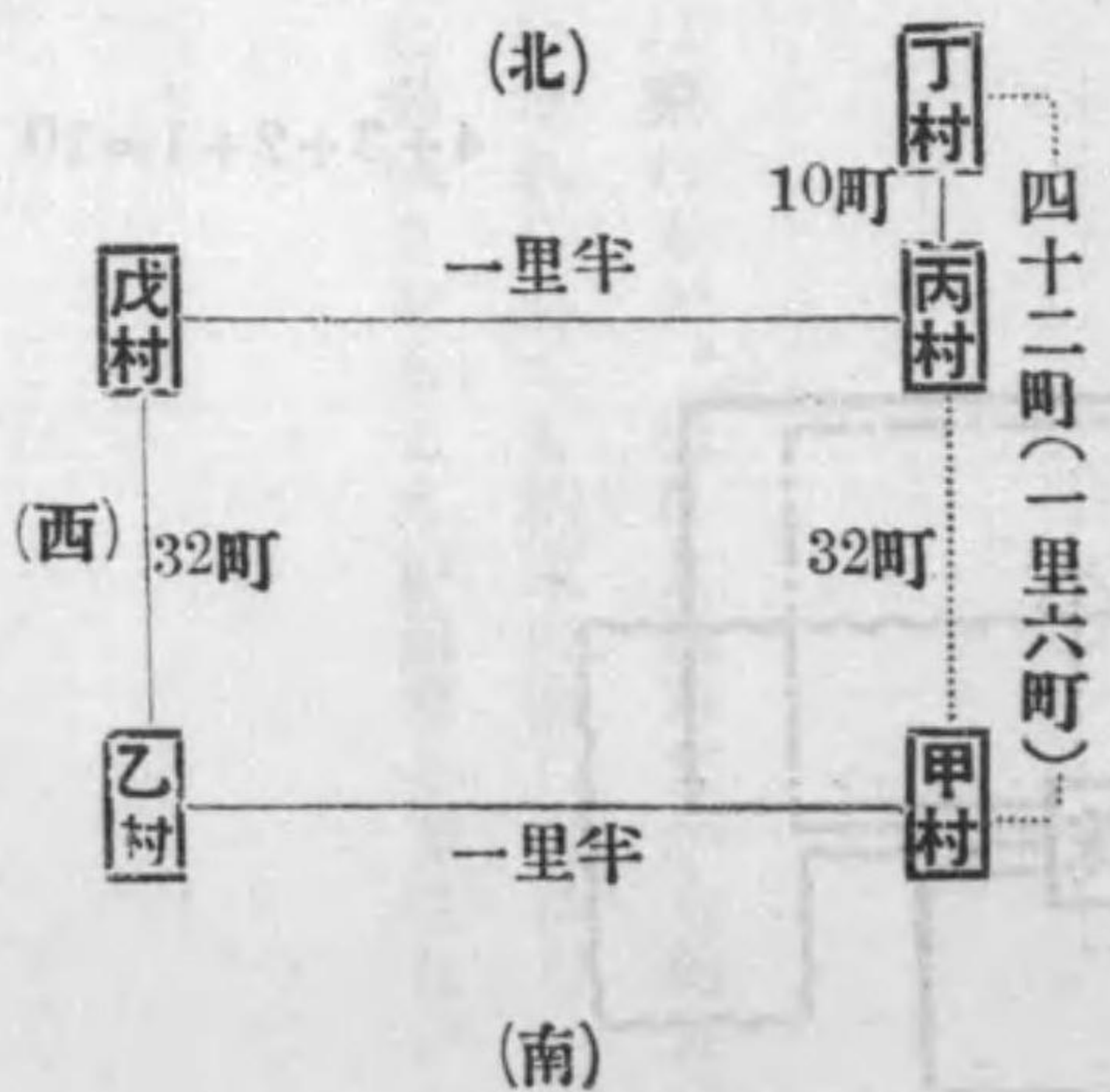
一〇、汽車

二、(東京府立第三中學校問題)

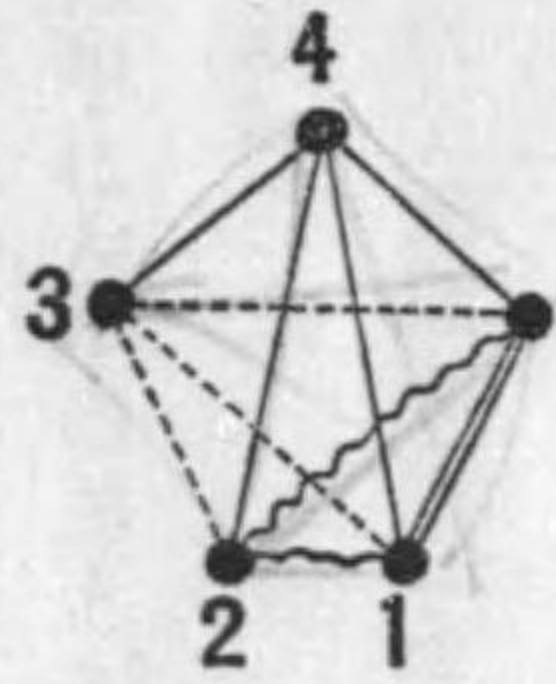
(1) 叔父です。

(2) 四十二町即一里六町。

(3) 木内先生。



(4) 十通り。



$4+3+2+1=10$

(5) 最大

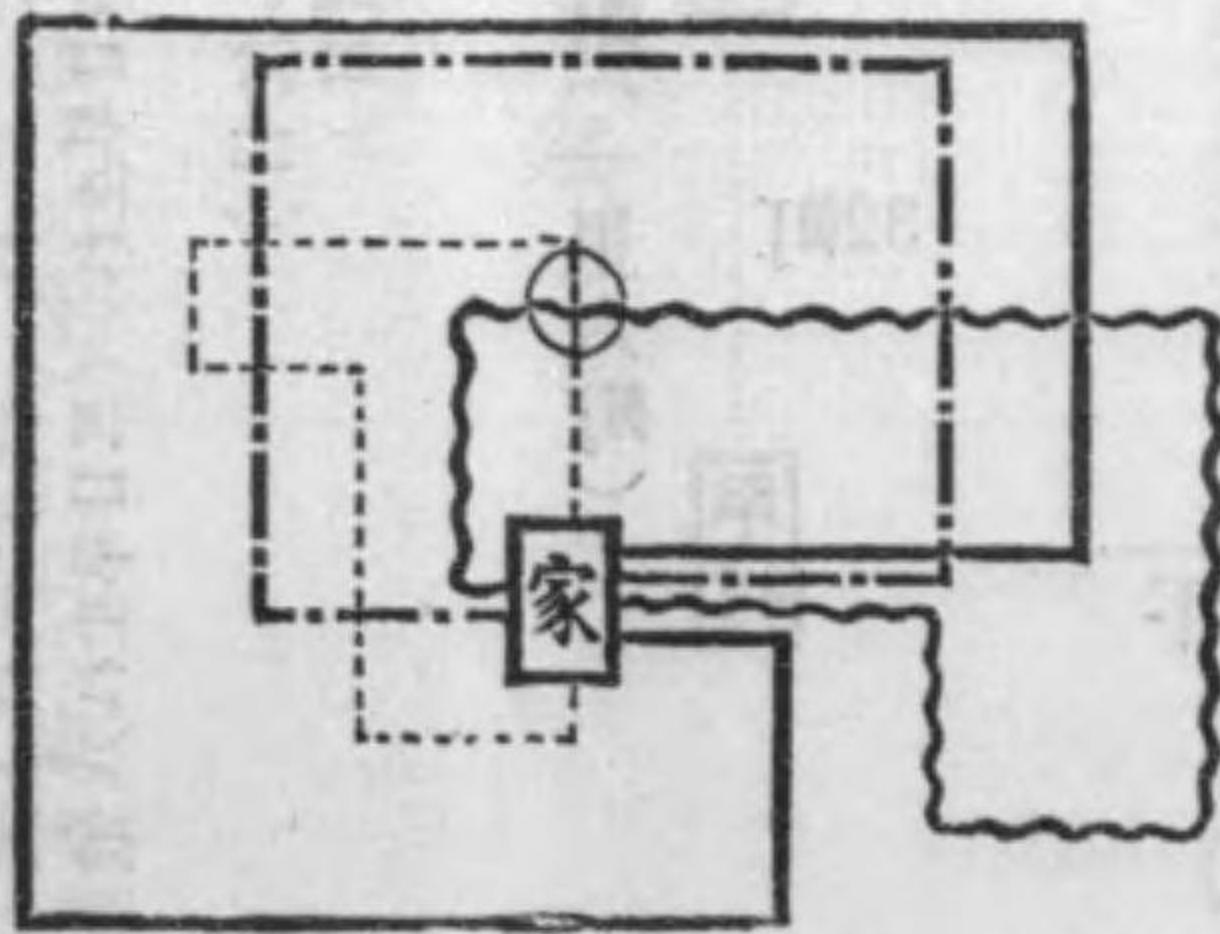
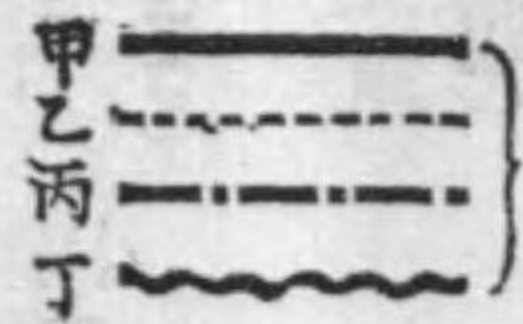
865320

最小

203568

(6) 丁が拾ひました。

○印の處が拾つた場所。



三、(東京高等学校問題)

一、不用。

二、信州の山。

三、武雄。

四、(3)と(5)。

五、東。

六、汽車が後れば彼は彼は汽車には乗れるが、後れた汽車だから約束の時に間に合ふやうに行けない。いづれにしても約束の間に合はない。

七、それから、上らなければ弟に勉強させることが出来るではないか。

八、午後三時十分

第十二章 演繹法

一、檜崎文學士の考案によるもの。

○それで私等は皆大和魂をもつてゐます。

○それで私達は皆馬鹿ではありません。

二、(東京高等師範學校附屬中學校問題)

- (一) 東。
- (二) 五。
- (三) 水曜日か、日曜日か。
- (四) 三月二十九日で水曜日。
- (五) 54×1 。 27×2 。 18×3 。 9×6 。

- (六) (1) 四五〇。(2) 二一八。

壁(東)

- (七) 東西南北。



- (八) 一から始めて第百番目までの奇数の数は百個ある。そこで例にある様な事から考へて、その奇数の数を自乗すれば總計が得られる。即ち

$$100 \times 100 = 10000$$

答 一萬

$$(偶数の場合) \quad 100 \times 101 = 10100$$

答 一萬百

- (九) 一ポンド増す毎に二十分づゝ多くかゝる。然して十一ポンドまでにこの増す場合が十回ある。そして初めの一ポンド焼くにかゝる時間は二十分であるから、次の式が立つ。

$$30 \text{ 分} + 20 \text{ 分} \times 10 = 230 \text{ 分} \quad \text{即三時間五十分かゝる。}$$

(五) 暖くて雨の多い氣候、暑くて雨の多い氣候。

第十三章 類推法

第一 簡單なる場合

一、久保文學士の考案せられたもの。

- 1 北
- 2 孝
- 3 妹
- 4 寒い
- 5 墨
- 6 市長
- 7 汽船
- 8 ロンドン

第二 複雑なる場合

久保文學士の考案せられたもの。

- 1 畫家
- 2 社
- 3 馬車
- 4 平和
- 5 水蒸氣
- 6 太陽
- 7 石炭
- 8 市會
- 9 幸福
- 10 帝國

□精神検査のやうな學科試験

答十六歳

答十歳 算出の式 $16 - (7 - 1) = 10$

滿一年の忌日は一回忌といふが滿二年の忌日を三回忌とするから $(7 - 1)$ とせねばならぬ。

(ハ) (1) 年頃の恩愛。

(2) 今日の元服の事。

(3) 少しも疑ふ心なき正儀の様。

第十四章 計算法

第一 普通の計算の場合

- 1.
- (イ) 152 (ロ) 84 (ハ) 1619673 (ニ) 121
 - (ホ) 1255 (ヘ) 279 (ト) 517 (チ) 37
 - (リ) 102976368618417249485 (ヌ) 856847990958506628650
 - (ル) 224 (ヲ) 2178 (ク) 4183 (カ) 518892
 - (ヨ) 36120678 (タ) 1997773 (レ) 18343777121

二、應用問題

- 第十四章 計算法 普通計算の場合 解、五九
- (イ) 11錢 (5錢 + 6錢)
 - (ロ) 32錢 (75錢 - 43錢)
 - (ハ) 20個 (100錢 ÷ 5錢)
 - (ニ) 42平方寸 (7 × 6)
 - (ホ) 4時45分 { $8.5\text{里} \div 2\text{里} = 4.25$
 $1\text{時} \times 4.25 = 4\text{時}15\text{分}$
 $(15\text{分} \times 2)4\text{時}15 = 4\text{時}45\text{分}$ }
 - (ヘ) 5時8分 { $12\text{時} - 7\text{時}22\text{分} = 4\text{時}38\text{分}$
 $4\text{時}38\text{分} + 4\text{時}48\text{分} = 9\text{時}26\text{分}$
 $24\text{時} - 9\text{時}26\text{分} = 14\text{時}34\text{分}$
 $14\text{時}34\text{分} - 9\text{時}26\text{分} = 5\text{時}8\text{分}$ }
 - (ト) 15錢 (7錢 + 8錢)
 - (チ) 8圓 (5圓 + 3圓)
 - (リ) 4歳 (13歳 - 9歳)
 - (ヌ) 14歳 (100歳 - 86歳)
 - (ル) 5升 (25人 ÷ 5人 = 5)(1升 × 5 = 5升)
 - (ヲ) 15圓 (2圓50錢 × 6)
 - (ク) 9尺 (6尺 × 1.5)(6尺 + (6尺 ÷ 2))
 - (カ) 10錢 (12個 ÷ 6個 = 2)(5錢 × 2 = 10錢)
 - (ヨ) 261圓 ((25圓 + 9圓) × 9)
 - (タ) 10時47分 (10時30分 + 17分)
 - (レ) 70錢 { $10.5\text{尺} \div 3\text{尺} = 3.5$
 $20\text{錢} \times 3.5 = 70\text{錢}$ }
 - (ソ) 165圓 { $40\text{日} \div 2 = 20\text{日}$
 $6\text{圓} \times 20 = 120\text{圓}$
 $40\text{日} \div 4 = 10\text{日}$
 $4.5\text{圓} \times 10 = 45\text{圓}$
 $120\text{圓} + 45\text{圓} = 165\text{圓}$ }
 - (ツ) $\frac{5}{6}$ 斤 { $60\text{人} \times 30 = 1800\text{人}$
 $1500\text{斤} \div 1800 = \frac{5}{6}\text{斤}$ }

五、(東京府立第三中學校問題)

其 一

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| (イ) 239134 | (ロ) 147.088 | (ハ) 262581 |
| (ニ) 150.332 | (ホ) 487815 | (ヘ) 1243.38 |
| (ト) 121808 | (チ) 9.9375 | (リ) 157916 |
| (ヌ) 72.408 | (ル) 485952 | (ヲ) 315.567 |
| (ワ) 372824 | (カ) 4492.73 | (ヨ) 633662 |

其 二

- (イ) $39 \div 13 = \boxed{3}$
 (ロ) $(23 - 8) \div 5 = \boxed{3}$
 (ハ) $40 \div 8 - 3 = \boxed{2}$
 (ニ) $7 - 2 = 5$ $13 - 5 = \boxed{8}$
 (ホ) $28 \div 7 = 4$ $9 - 4 = \boxed{5}$
 (ヘ) $2.5 \div 0.5 = \boxed{5}$
 (ト) $\frac{5}{7} \div \frac{5}{7} = \frac{5}{7} \times \frac{7}{5} = \boxed{1}$
 (チ) $8 \times 2 = 16$ $16 - 5 = \boxed{11}$
 (リ) $15 - 7 = 8$ $8 \times 4 = \boxed{32}$
 (ヌ) $28 \div 4 = 7$ $13 - 7 = \boxed{6}$

六、解答を略す。

三、(東京府立第三中學校問題)

(加法でやさしいから解答を省く。)

四、(東京府立第三中學校問題)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| (イ) 1367 | (ロ) 1847 | (ハ) 679 | (ニ) 967 |
| (ホ) 1356 | (ヘ) 823 | (ト) 1982 | (チ) 226 |
| (リ) 956 | (ヌ) 811 | (ル) 1569 | (ヲ) 726 |
| (ワ) 451 | (カ) 429 | (ヨ) 1728 | (タ) 2356 |
| | アマリ2 | | |
| (レ) 584 | (ソ) 1234 | (ツ) 534 | (ネ) 377 |
| (ナ) 547 | (ヲ) 3142 | (ム) 675 | (ヅ) 2309 |
| (キ) 665 | (ノ) 1739 | (オ) 2682 | (ク) 503 |
| (ヤ) 1192 | (マ) 7198 | (ケ) 824 | (フ) 1508 |
| (コ) 865 | (エ) 4378 | (テ) 1251 | (ア) 663 |
| | | アマリ2 | |
| (サ) 2504 | (キ) 339 | (ユ) 941 | (メ) 1385 |

(ト) 4790020 (チ) 477624 (リ) 1778192
 (ヌ) 368714 (ル) 574955 (ヲ) 287777
 (ヅ) 310460 (カ) 295301 (ヨ) 278616
 (タ) 390515 (レ) 4840872 (ソ) 727059
 (ツ) 588596 (ネ) 274855 (ナ) 486720
 (ラ) 90668 (ム) 3054120 (ウ) 135625

は

(イ) 24685390 (ロ) 27403168 (ハ) 89174059
 (ニ) 26673751 (ホ) 52084319 (ヘ) 34276915
 (ト) 59480584 (チ) 27180297 (リ) 94085361
 (ヌ) 12465937 (ル) 67082214 (ヲ) 72069314
 (ヅ) 51386394 (カ) 85915923 (ヨ) 97816325

七、カーテイス氏問題

い

(イ) 4329 (ロ) 6045 (ハ) 4786
 (ニ) 5640 (ホ) 4109 (ヘ) 4867
 (ト) 5615 (チ) 5006 (リ) 5203
 (ヌ) 4988 (ル) 4980 (ヲ) 4517
 (ヅ) 4244 (カ) 5138 (ヨ) 4190
 (タ) 4921 (レ) 3828 (ソ) 5129
 (ツ) 5452 (ネ) 4801 (ナ) 5437
 (ラ) 4233 (ム) 4470 (ウ) 3806

ろ

(イ) 231168 (ロ) 322431 (ハ) 404834
 (ニ) 133950 (ホ) 483340 (ヘ) 200982

第二 組み合わせ計算の場合

(東京府立第五中學校問題)

| | | | | | | | |
|---------|---|---------|---|---------|---|---------|---|
| 4.7.3.6 | 3 | 4.9.6.8 | 2 | 1.2.5.3 | 1 | 9.5.2.8 | 4 |
| 6.4.5.7 | 2 | 6.9.4.2 | 5 | 1.3.2.6 | 1 | 2.8.7.9 | 1 |
| 6.3.4.7 | 2 | 9.8.2.5 | 5 | 3.6.7.5 | 2 | 6.4.8.9 | 1 |
| 7.5.3.9 | 3 | 5.4.3.2 | 6 | 6.3.1.7 | 3 | 1.3.6.2 | 2 |
| 5.3.4.9 | 2 | 8.3.4.5 | 3 | 1.7.5.6 | 2 | 6.7.4.8 | 2 |
| 8.2.6.9 | 2 | 2.6.7.3 | 2 | 5.2.8.9 | 1 | 8.6.2.9 | 3 |
| 1.2.3.7 | 0 | 7.2.5.6 | 3 | 7.4.6.5 | 4 | 4.9.5.6 | 2 |
| 6.4.5.7 | 2 | 5.7.3.8 | 2 | 8.7.3.6 | 5 | 7.5.1.4 | 5 |
| 1.6.7.4 | 2 | 9.8.6.4 | 6 | 4.9.5.6 | 2 | 3.2.7.6 | 2 |
| 3.5.4.2 | 4 | 9.8.6.7 | 5 | 8.4.2.5 | 4 | 7.2.9.6 | 3 |

練習題 (横須賀中學校問題)

- 1 u f o
 2 丁
 3 (イ) 22, 50 (ロ) 8, 16, 17, 19
 (ハ) 1, 36, 49 (ニ) 33, 30, 31, 24
 (ホ) 15, 16, 16, 6
 4 (イ) 正 (ロ) 誤 (ハ) 誤 (ニ) 正
 (ホ) 誤
 5 1、四時三十分頃 2、九時十五分頃
 3、四時五十分頃 4、二時四十分頃
 5、十時四十五分頃 6、四時三分頃

解、六五

(タ) 42070968 (レ) 46886034 (ソ) 96074014

(ツ) 14039751 (ネ) 39210475 (ナ) 56793384

(ラ) 74596431 (ム) 34588012 (ウ) 14892635

に

(イ) 291 (ロ) 904 (ハ) 290

(ニ) 941 (ホ) 730 (ヘ) 906

(ト) 1190 (チ) 450 (リ) 850

アマリ48

(ヌ) 421 (ル) 681 (ヲ) 961

(ヅ) 420 (カ) 680 (ヨ) 741

(タ) 906アマリ33 (レ) 507 (ソ) 740

(ツ) 641 (ネ) 571 (ナ) 324

アマリ6

アマリ75

(ラ) 703 (ム) 851

第十五章 創作法

- 1、男の子が二人でボールを投げて遊んで居ました。そのうちに一人がボールを受けはづしました。ボールはコロ／＼ころがつて行きました。そしてその邊を流れて居る川の中へころがりこみました。その川は流れの早い川でした二人はボールを拾はうと色々苦心しましたけれども、見る／＼うちにボールは遠く流れて行つてしまひました。
- 2、ある家に大へん伶俐な猿が飼つてあつた。その猿は毎日々々その家の子供と仲よく遊んで居つた。ふとした不注意から、ある日その家がやけた。その時子供ひとり家の中に遊んで居て、逃げ出さうとはしなかつた。丁度父母が不在であつたので、そのまゝ置けば小供は焼け死んでしまふのだ。此時その伶俐な猿は庭の木へのぼつて遊んで居たが、火事だと云ふ事を知るや否や急い

- で家の中へかけ込んで、その子供の手を取つて外へ連れ出したので、子供は幸に助かつた。この猿が子供を助けてくれた事を、親が有り難く思つて、賞與として毎日々々、その猿のすきな栗やおいもを澤山やる事にした。
- 3、(1)と(2)に見るやうに、如何なる話にしてもよいのです。語の數が多い程面倒になります。自分で作つて御らんない。(解答を略す。)
 - 4 (東京府立第七中學校問題) (解答を略す。)

第十六章 概括法

- 1 石油は水よりも軽い。(若しくは、水は石油よりも重い。)
- 2 金屬は水よりも重い。(若しくは、金屬は水に沈む。)
- 3 人は皆死ぬものである。

4 (東京府立第二高等女學校問題)

- 一、選挙は如何に大切な事であるかといふこと。
- 一、棄権するのは國民として耻すべきことなること。
- 一、投票は自分の最も信用する候補者にすべきこと。

5 (東京高師附屬中學校問題)

- 一、地球に向つて落ちて来る星を流星といふ。流星は鐵のかたまりである。
- 一、物はすべて擦れ合ふと熱を起す。擦れ合ふ時の速さが早いほど熱は高い。
- 一、流星の速さは一秒間に約二十哩(鐵砲玉の速さの約百倍)走る速さが百倍になると熱は一萬倍になる。
- 一、それで流星は空氣と擦れ合つて熱を起し、その熱で自分が熱えて光る。
- 一、流星は一晚に一千萬ほどあるが大抵は途中で燃えてしまふ。
- 一、空氣中で燃えきらぬ流星は鐵のかたまりとして地面に落ちて来る。

第十七章 其他の検査法

(本章は解答を要しないものが多い、次ぎに判りにくいものだけを書く。)

第二 觀察力をためす法

二、探索法 (東京高等學校問題)

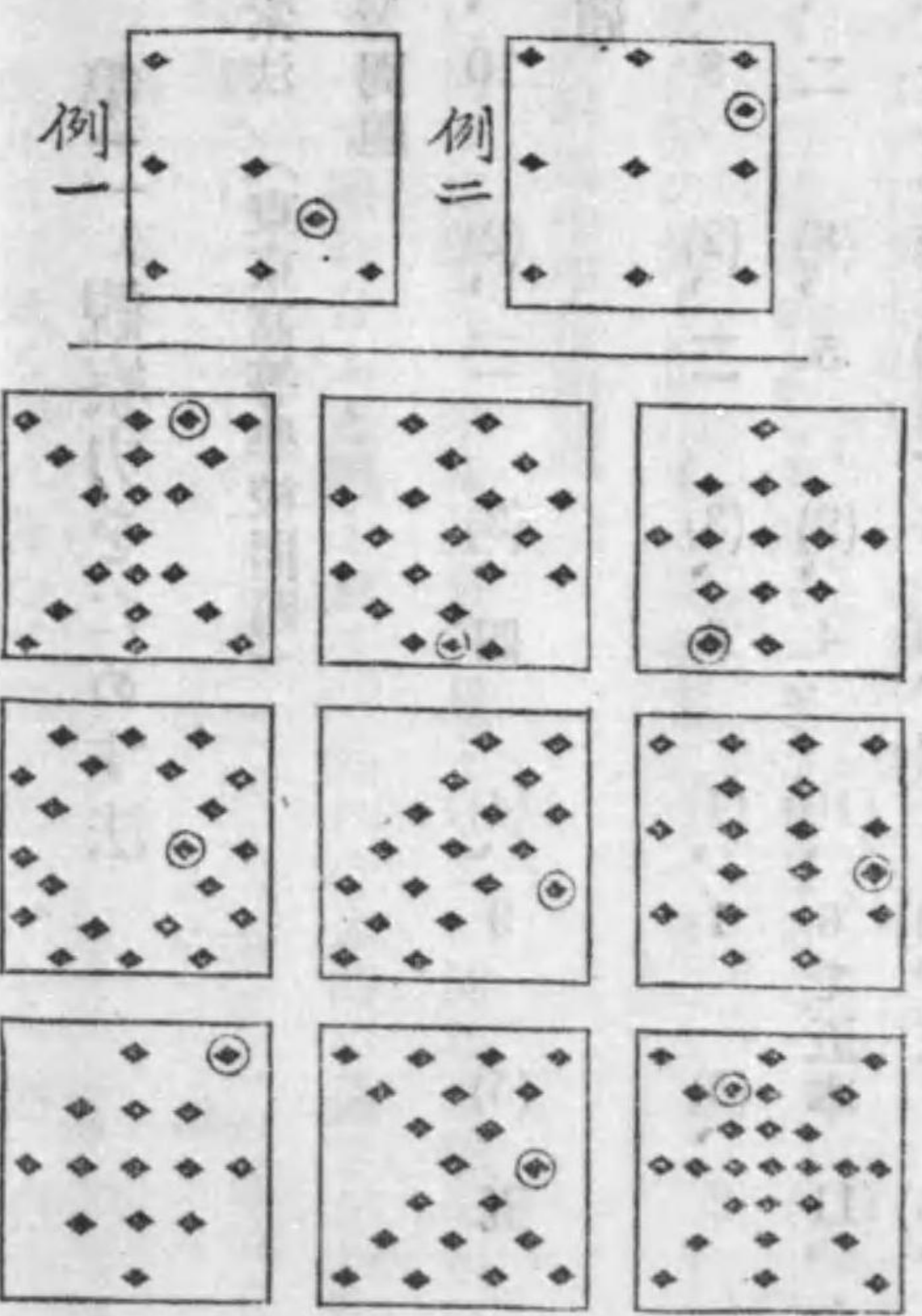
練習問題

- (1)、10
- (2)、三
- (3)、四
- (4)、9
- (5)、五

問題

- (1)、8
- (2)、三
- (3)、6
- (4)、1
- (5)、2
- (6)、六
- (7)、二
- (8)、5
- (9)、4
- (10)、6で五本
- (11)、七
- (12)、七つの形と關係する
- (13)、四
- (14)、三
- (15)、八

三、點發見法



精神検査標準問題集 終りの。

大正十一年十二月八日印刷

大正十一年十二月廿二日發行

精神検査標準問題集

定價金壹圓貳拾錢

著者 大森岩藏

發行者 近藤久男

印刷者 小鹽信三

印刷所 東京市麴町區麴町二丁目九番地 小鹽印刷所

發行所

東京市神田區表神保町十番地 振替東京 郵政 八番

南海書院

東京 〓 東京堂 〓 益文館 〓 六合館 〓 北隆館 〓 上田屋 〓 三松堂 〓 大阪屋
 大阪 〓 寶文館 〓 盛文館 〓 金正堂 〓 名古屋 〓 川瀬 〓 星野 〓 小澤 〓 神戸 〓 寶文館
 久留米 〓 菊竹 〓 昭路 〓 寶文館 〓 札幌 〓 富貴堂 〓 長崎 〓 好文堂 〓 佐賀 〓 大坪
 仙臺 〓 金港堂 〓 新潟 〓 萬松堂 〓 長岡 〓 目黒



| 編著者名 | 書名 | 版数 | 定價 | 送料 |
|---------|---------|-----|-------|----|
| 武内猛夫先生 | 全君の千教の師 | 拾 | 金壹圓廿錢 | 六錢 |
| 甲南中學校教諭 | 算術圖式解法 | 拾八版 | 金壹圓 | 六錢 |
| 千葉茂先生 | 算術圖式解法 | 拾八版 | 金壹圓 | 六錢 |
| 東京高師三教諭 | 算術標準問題集 | 拾貳版 | 金九拾五錢 | 六錢 |
| 東京高師三教諭 | 算術標準問題集 | 五十版 | 金四拾八錢 | 四錢 |
| 田邊晋八先生 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 愛知縣社會教育 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 主事和田藏先生 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 長崎師範主事 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 長崎近一郎先生 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 大阪高女教諭 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 油田佐吉先生 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 難詰白樺王筆 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 桂田金造先生 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 八王子第三訓導 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 岸本巳三男先生 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 安城高女教諭 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 笹川又五郎先生 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 長崎師範主事 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 長崎近一郎先生 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 美島近一郎先生 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 南海報 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 院兒 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 室童 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 綴方博覽會 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 六學年 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |
| 新 | 算術標準問題集 | 最新刊 | 金五拾錢 | 四錢 |

此の次に載せてある廣告は
 中等諸學校入學準備者にと
 つて唯一の友達であり、教師
 てあり、及第の榮冠を與へて
 くれる天使でありますから、
 よくよく御覽なさい。

中學校高等女子學校實業諸學校
 入學試驗
 まともな知識を得る

大阪府立堺高等女子學校教諭
 大阪府立津尋常小學校教諭
 油田佐吉先生著〔第六版〕

讀方準備の仕上げ

定價 錢五拾八金
 送料 錢四金

最も新しい最も完全な讀方準備書です。本書の著者
 油田先生は中等學校教諭として入學試験を行はれた
 小學校訓導として直接準備教育を施してゐられる方
 です。その此の兩方面から兒童の習性、理解力、
 経験を研究を積み重ねた結果、及落の岐れ、目、
 なるの、だといふ要點を、故に本書は、從來の文字熱語を
 引いたのが本書です。故に本書は、從來の文字熱語を
 字引式に列べた類書とは異なり、十文字熱語を
 は、勿論、短句・反語・短文・韻文・復文以下、十文字熱語を
 ありとあらゆる讀方の問題、網羅した然も全體を系統
 的に分類して、つくりと諸君の頭脳に這入るやうにし
 著され、非本書を推薦します。諸君に最も適した讀方準備書と
 是非本書を推奨します。

東京市神田區 南海發行院 振替貯金 八二二一 番

中學校高等女子學校實業諸學校
 入學試験
 まともな知識を得る

少年少女自白
 由創作雜誌 白鳩主筆 桂田金造先生著〔第參版〕

綴方準備の仕上げ

定價 錢拾五金
 送料 錢四金

綴り方の入學準備書は、たくさん出ているやうで、
 あり作すが、中には、試験にうまくなるやうな、
 考へて、作つた本が多いやうに思ひます。こんな
 の仕方は、危険な心持で、ななく、全くなさ
 へ、今さしおせ、な、試験だ、と云つても、
 強を、今さしおせ、な、試験だ、と云つても、
 出、今さしおせ、な、試験だ、と云つても、
 本、今さしおせ、な、試験だ、と云つても、
 め、今さしおせ、な、試験だ、と云つても、
 に、今さしおせ、な、試験だ、と云つても、

東京市神田區 南海發行院 振替貯金 八二二一 番

東京府八王子第三尋常小學校訓導

岸本巳三男先生編纂

【最新刊】

たつまとまる得を識知
入學試験

國史準備の仕上げ

定價 金六拾錢
郵金 四錢

附録、國史重要年表、最近歴史入學試験問題、國史年代表

國史の試験は恐ろしい。國史の試験は何故恐ろしいか、國史の試験は教科書のことから先生の教へを皆んな覚えて置いても、決して「安心は出来ない」。それは又どう云ふわけじやう。サアそれは、入學試験の時、出された問題を見てこれの答えはどのへんから書き始め、どのへんまで書けばいいのか、途中にでてくることからの説明はどれとどれとを書いてよいやらわらるいやら、さつぱり考へがつかかぬるものである。みじかすぎても落第、長すぎても落第、この恐ろしい國史の試験に満點をとらせたいばかりに、岸本先生が長い間の御苦心で出来たのが本書です。この國史準備の仕上げはそのまゝ、答案に書けばよいやうに、ひとつ／＼とまとめた知識が得られるやうに工夫に工夫をこらして編纂されてあります。

中學校・高等女學校・實業學校
入學試験
〔受驗のイシズ〕

愛知縣社會教育主事 和田眞先生編纂【最新刊】

地理標準問題集

定價 金五拾錢
郵金 四錢

地理は小學校では地方別に教へられるが、入學試験のときには、地理全體を通じた問題を出されることが多い。それ故地理の試験に善い成績を得やうと思ふ人は地理全體を通じたどんな問題に對してもすらすらと答案が作れるやうに自分の頭の中を整理して置かねばならぬ。この地理標準問題集は和田先生が最近三ヶ年間の全國中等諸學校の入學試験の問題をお集めになりそれを先生獨特のお考へで分類せられ最も適當なる解答が書かれてあります。皆様は本書で自分の頭を十分整理して置かれたならば、どんな六ヶしい問題が出ても少しの心配もなくすらすらと試験官の御満足になる答案を作る事が出来ませう。

東京市神田區 南海書院發行 振替貯金 東京 八二二一 番

東京高等師範學校 三教諭分擔講義

(讀方の部・綴り方の部・算術の部)

入學模範講義

全三冊

各金九拾五錢
各金六錢
送料

本書は東京高等師範學校三教諭の忠實熱心な分擔講義を全四五千五百餘の教師諸君の指導援助と三ヶ年の長日月と五千餘百圓の編纂費とによつて始めて完成せられた實に今迄に類のない完全無缺の模範的入學準備書です。本書によつて準備をすれば必ず好成绩を以て入學出來得る事を編者は確實に保證します。本書の効果は首席又は好成绩入學者より禮狀二萬餘通を受けたのもよくわかるではありませんか。

中學校・女學校・實業學校・入學志望者は是非お讀みなさい。
注意 讀方の部・綴り方の部・算術の部・全三冊を一時に注文すれば定價送料共金參圓です。

東京市神保町 南海書院發行 振替貯金 東京八番二二二

工5D-67



東京南海書院發行

終

